令和元年度
坂井市教育委員会の事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

坂井市教育委員会

― 目　　次 ―

Ⅰ　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ　点検・評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅲ　令和元年度坂井市教育委員会の活動状況

１　教育委員会の会議開催等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

２　教育長・教育委員の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

２－１指導主事学校訪問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

２－２全国大会等出場激励会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

３　委員会、審議会等の審議状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

４　教育委員会関係の許認可の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

Ⅳ　教育委員会関係事業の取組実績

令和元年度事業別施策の成果報告書

○ 教育総務課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

○ 学校教育課（給食センター）・・・・・・・・・・・・・・・ 19

○ 生涯学習スポーツ課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

○ 文化課（みくに龍翔館、丸岡城国宝化推進室）・・・・ 42

○ 市立図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

Ⅴ　有識者からの意見 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

Ⅰ　はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

【参考】
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）
（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第 26 条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

本報告書「令和元年度坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」（以下、「点検・評価報告書」という。）は、地教行法の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民の皆様に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が令和元年度の主要施策の取組結果とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価をまとめたものです。

Ⅱ　点検・評価について

１　対象期間

令和元年度（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）

２　点検・評価方法

（１）点検・評価報告書の作成

教育委員会において点検・評価報告書案を作成

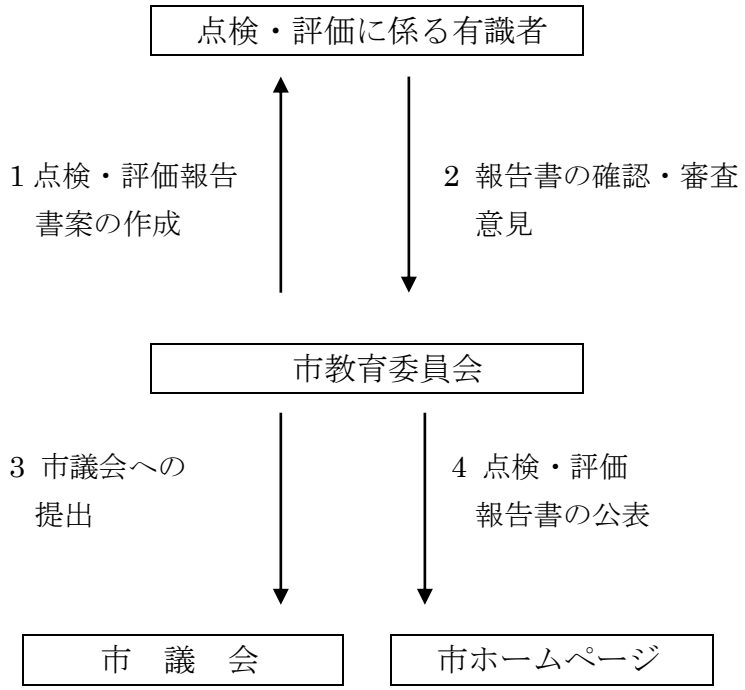
（２）点検・評価報告書の確認、審査

有識者による点検・評価報告書案の内容の確認及び審査

（３）点検・評価結果の公表

点検・評価報告書を市議会に提出するとともに、市のホームページにおいて公表

〔点検・評価フロー〕



Ⅲ　令和元年度　坂井市教育委員会の活動状況

1　教育委員会の会議開催等の状況

(1) 坂井市教育委員会　教育長、委員

(平成 30 年 5 月 11 日現在)

	氏　名	職　業
教育長	川元　利夫	
委員（教育長職務代理者）	田中　典夫	公益財団理事
委員	牧田　靖夫	会社役員
委員	宮﨑　美恵子	医療法人理事
委員	若松　静榮	茶道教授

(令和元年 5 月 11 日現在)

	氏　名	職　業
教育長	川元　利夫	
委員（教育長職務代理者）	田中　典夫	公益財団理事
委員	宮﨑　美恵子	医療法人理事
委員	若松　静榮	茶道教授
委員	牧田　靖夫	会社役員

(2) 教育委員会の開催状況

・　開催回数　　14 回
・　附議事項　　29 件

(3) 教育委員会審議案件

○　4 月定例教育委員会〔平成 31 年 4 月 23 日（火)〕
議案第 1 号 坂井市学校事務共同実施組織責任者の指定について
議案第 2 号 就学指定校の変更許可について
議案第 3 号 坂井市青少年愛護センター条例施行規則の一部改正について
議案第 4 号 坂井市青少年愛護センター一般補導員勤務規程の一部改正について
議案第 5 号 坂井市立図書館協議会委員の承認について

○　5 月臨時教育委員会〔令和元年 5 月 13 日（月)〕
議案第 6 号 坂井市教育委員会教育長職務代理者の指名について
議案第 7 号 坂井市教育委員会教育委員の席次の決定について

議案第8号 平成31年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択坂井地区協議会の設置および採択地区協議会の協議結果に基づき採択することに関する議決について

○ 5月定例教育委員会〔令和元年5月24日（金）〕
議案第9号 就学指定校の変更許可について

○ 6月定例教育委員会〔令和元年6月24日（月）〕
議案第10号 就学指定校の変更許可について
議案第11号 坂井市立図書館条例施行規則の一部改正について

○ 7月定例教育委員会〔令和元年7月23日（火）〕
議案第12号 就学指定校の変更許可について

○ 8月定例教育委員会〔令和元年8月23日（金）〕
議案第13号 就学指定校の変更許可について
議案第14号 坂井市立小学校及び中学校の管理規則の一部改正について
議案第15号 令和元年度教科用図書採択坂井地区協議会結果の承認について

○ 9月定例教育委員会〔令和元年9月24日（火）〕
議案第16号 就学指定校の変更許可について
議案第17号 坂井市文化財保護審議会に諮問することの協議について

○ 10月定例教育委員会〔令和元年10月21日（月）〕
議案第18号 就学指定校の変更許可について
議案第19号 丸岡城調査研究委員会設置要綱の一部改正について

○ 11月定例教育委員会〔令和元年11月21日（木）〕
議案第20号 就学指定校の変更許可について

○ 12月定例教育委員会〔令和元年12月17日（火）〕
議案第21号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
議案第22号 坂井市丸岡歴史民俗資料館条例施行規則の一部改正について
議案第23号 文化財の新規指定について
議案第24号 就学指定校の変更許可について

○　1月定例教育委員会〔令和2年1月28日（火）〕
議案第25号　坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について（追加）
議案第26号　就学指定校の変更許可について

○　2月定例教育委員会〔令和2年2月18日（火）〕
議案第27号　坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について（追加）

○　3月臨時教育委員会〔令和2年3月2日（月）〕
新型コロナウイルス対策状況について報告

○　3月定例教育委員会〔令和2年3月24日（火）〕
議案第28号　坂井市教育委員会行政組織規則の一部改正について
議案第29号　就学指定校の変更許可について

２　教育長、教育委員の活動状況

	月　　日	委　　員　　名	活　　動　　内　　容
1	平成31年4月1日	川元	教育委員会辞令交付式
2	4月2日	川元、田中、牧田、若松	教職員着任式
3		川元	坂井地区第1回学校運営研究大会
4	4月8日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	各中学校入学式
5	4月10日	川元	スポーツ少年団育成会協議会総会
6	4月15日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	坂井市教育研究会総会
7	4月16日	川元	坂井地区教育長会議
8	4月17日	川元	福井県都市教育長協議会総会
9	4月20日	川元	東尋坊杯招待バレーボール大会
10	4月21日	川元、田中、宮﨑、若松	第26回一筆啓上顕彰式
11	4月24日	川元	福井県市町教育長会議
12	4月25日	川元	東海北陸都市教育長協議会定期総会・研究大会（小松市）
13	4月27日	川元	江留上コミセンお披露目会
14	4月28日	川元	坂井市スポーツ少年団入団式
15	5月4日	川元	坂井市古城カップサッカー大会
16	5月10日	川元	福井県中学校長研究大会（坂井地区大会）
17	5月11日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	坂井市PTA連合会総会
18	5月13日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	福井県市町教育委員会連絡協議会総会・研修会（福井市）
19	5月17日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	英国派遣団報告会
20	5月18日	川元、牧田	小学校運動会（平章・長畝・春江・春江西・春江東、大石）
21	5月19日	川元、田中	鳴鹿地区体育祭
22	5月20日	川元	日本サッカーを応援する自治体連盟総会（東京）
23	5月23日～24日	川元	全国都市教育長協議会定期総会・研究大会（富山市）
24	5月25日	川元	北信越ゲートボール選手権大会開会式
25		川元、田中、宮﨑、若松	小学校運動会（高椋、明章、東十郷、大関、兵庫、木部）
26	5月27日	川元、田中、若松、牧田	採択坂井地区協議会
27	6月2日	川元、田中、宮﨑、牧田	第14回坂井市古城マラソン
28	6月5日	川元	愛護センター補導員委嘱式及び研修会
29	6月6日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	坂井市総合美術展開場式
30	6月9日	川元	ＪＡ花咲ふくい杯少年少女剣道坂井大会
31	6月12日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	坂井市小学校音楽会
32	6月15日	川元	福井県ＰＴＡ坂井ブロック地区別研修会
33	6月19日	川元、宮﨑、牧田	文化芸術巡回公演（落語）（兵庫小）
34	6月26日	川元	福井県中学校教育研究会坂井ブロック研究集会
35		川元	福井県市町教育長会議
36	6月28日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	英国招へい団教育委員会主催懇談会
37	7月1日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	英国招へい団市長表敬訪問
38	7月2日	川元、若松、牧田	英国招へい団　丸岡南中訪問
39	7月4日	川元、宮﨑、若松	英国招へい団　坂井市出発（見送り）
40		宮﨑、牧田	ふるさと子どもコンサート（ハートピア春江）
41	7月6日	川元、宮﨑、若松、牧田	第8回坂井市子ども文化祭開会式
42		川元	七夕茶会と子供縁日（加戸・公園台コミセン）
43		川元、宮﨑、牧田	坂井市民スポーツ祭総合開会式
44	7月7日	川元	海からの贈り物2019
45		川元	中部ふれあいのつどい
46	7月11日	川元、若松	第1回市民文化祭実行委員会
47	7月13日	川元、宮﨑	三国中サマーコンサート
48	7月14日	川元	いそべ夏まつり
49	7月16日	川元、田中、宮﨑	文化芸術巡回公演（三国西小）
50	7月21日	川元	県民スポーツ祭バウンドテニス大会
51	7月22日	川元	坂井地区小学校教育課程研究集会
52	7月23日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	第1回総合教育会議

２　教育長、教育委員の活動状況

	月　　日	委　　員　　名	活　動　内　容
53	7月27日	川元	はるえイッチョライでんすけ祭り
54	7月29日	川元	福井県都市教育長協議会研修会
55	7月30日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	採択坂井地区協議会
56	8月1日	川元、宮﨑	学生茶会
57	8月3日	川元、宮﨑	三国町地区対抗小学生スポーツ大会（野球）
58		川元、宮﨑	三国町地区対抗小学生スポーツ大会（バレーボール）
59	8月4日	川元	さかい夏祭り
60	8月8日	宮﨑、牧田	民生委員推薦会
61		川元	福井県小学校教育課程研究集会
62	8月24日	川元、宮﨑	くちなし忌
63	8月25日	川元	坂井市バウンドテニス交流大会
64	8月31日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	三国湊帯のまち流し
65	9月3日	川元	福井県市町教育長会議
66	9月5日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	市内中学校体育祭
67	9月7日	川元、田中、宮﨑	三国北小、磯部小運動会
68	9月9日	川元	坂井市子ども会育成連絡協議会壁新聞コンクール審査
69	9月11日	川元	坂井地区中学校駅伝競走大会
70	9月13日	川元、宮﨑	中学校文化祭（三国、丸岡南、坂井）
71	9月14日	川元、宮﨑、若松、牧田	小学校運動会（三国南、雄島、加戸、三国西）
72		川元、田中、若松、牧田	中学校文化祭（丸岡、春江）
73		川元	表児の米
74	9月21日	川元、田中、宮﨑、牧田	こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展表彰式
75		川元	丸岡城自由研究コンテスト表彰式
76		川元、宮﨑	長畝日向神楽奉納
77	9月28日	川元	浜四郷まつり
78	9月29日	川元	坂井市ハピネスフェスティバル
79		川元	県民スポーツ祭（フォークダンス）
80	10月1日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	坂井・あわら市合同小学校陸上記録会
81	10月3日	川元、宮﨑	英国派遣団第1回オリエンテーション
82	10月14日	川元	市民スポーツ祭
83	10月20日	川元	坂井しおかぜクロカンマラソン
84		川元	第1回卓球バレー交流大会
85		川元	春江東部ふるさとまつり
86	10月24日	川元	福井県小学校理科研究大会
87	10月25日	牧田	第1回福井県高等学校問題協議会
88	10月26日	川元	ふくい県詩祭三国
89	10月27日	川元	福井県スポーツ推進委員研修会
90	11月2日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	坂井市民文化祭総合開会式
91	11月3日	川元	古城旗争奪剣道大会
92	11月7日	宮﨑、若松	福井県市町女性教育委員の会　第２回研修会（大野市）
93	11月9日	川元	三南フェスティバル（三国南小）
94		牧田	小葉田淳記念文庫講演会
95	11月10日	川元	全国小中学生競技かるた選手権大会福井大会
96	11月12日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	英国派遣団結団式
97	11月15日	川元	健全育成「一筆啓上」標語コンクール表彰式
98	11月16日	川元	丸岡城シンポジウム
99	11月17日	川元	坂井市エスキーテニス選手権大会
100	11月22日	川元	福井大学教育学部附属義務教育学校教育研究集会
101		川元、田中、牧田	坂井市青少年健全育成推進大会
102	11月23日	川元、宮﨑、若松、牧田	坂井市ＰＴＡ連合会市長・教育委員と語る会
103	11月24日	川元	坂井市子ども会育成連絡協議会壁新聞コンクール表彰式
104		川元、田中、宮﨑、若松	まるおか子供歌舞伎

２　教育長、教育委員の活動状況

	月　　日	委　　員　　名	活　動　内　容
105	11月26日	川元	坂井市子育て講演会
106	11月28日	川元、田中	ふれあい文化子どもスクール（ハーモニーホール）
107	11月29日	宮﨑、若松	ふれあい文化子どもスクール（ハーモニーホール）
108		川元、田中、宮﨑、若松、牧田	第２回坂井地区合同教育委員会
109	11月30日	牧田	春江町ＰＴＡ懇談会
110	12月5日	川元、宮﨑	英国派遣団第2回保護者説明会
111	12月7日	川元	坂井地区子供まつりディスクドッヂ大会
112	12月17日	川元	北陸三県高校生アートビエンナーレ実行委委員会
113	12/21～22	川元	新時代の学びを支える教育長講座（兵庫教育大学）
114	12月24日	牧田	第２回福井県高等学校問題協議会
115		川元	坂井地区教育長会議
116	12月25日	川元	福井県市町教育長会議
117	令和2年1月10日	川元	坂井地区教育長会議
118	1月12日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	坂井市成人式
119	1月19日	川元	小学生親善かるた大会
120	1月22日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	ふるさとづくり大会、生涯学習講演会
121	1月24日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	一筆啓上入賞者発表会
122	1月27日	川元	福井県文化協議会新春のつどい
123	1月28日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	第2回総合教育会議
124	2月2日	川元	三国町小学生親善卓球大会
125	2月3日	川元、牧田	坂井地区高等学校教育懇談会
126	2月8日	川元	福井県ふるさと教育フェスタ
127	2月9日	川元	坂井市民競技かるた大会
128		川元	坂井地区キャリア教育推進フォーラム
129	2月10日	川元	坂井地区教育長会議
130	2月12日	川元	福井県市町教育長会議
131	2月14日	川元	坂井市民文化祭実行委員会（総括）
132	2月15日	川元	坂井市成人大学閉講式
133	2月16日	川元	バウンドテニス大会
134	2月29日	川元	坂井市文化財保存活用地域計画シンポジウム
135	3月1日	（川元）	木部春のふれあいまつり（中止）
136	3月2日	（宮﨑）	三国高等学校卒業証書授与式（縮小）来賓出席なし
137	3月3日	（牧田）	坂井高等学校卒業証書授与式（縮小）来賓出席なし
138		（田中）	丸岡高等学校卒業証書授与式（縮小）来賓出席なし
139		（若松）	丸岡高等学校定時制卒業証書授与式（縮小）来賓出席なし
140	3月8日	（川元）	大関コミセンやよい祭（中止）
141	3月11日	（川元、田中、宮﨑、若松、牧田）	英国派遣団壮行式（中止）
142	3月12日	（川元、田中、宮﨑、若松、牧田）	各中学校卒業証書授与式（縮小）来賓出席なし
143	3月14日	（川元、田中、宮﨑、若松、牧田）	坂井市教育委員会表彰（中止）
144	3月16日	（牧田）	第3回福井県高等学校問題協議会（中止）
145	3月17日	（川元、田中、宮﨑、若松、牧田）	各小学校卒業証書授与式（縮小）来賓出席なし
146	3月31日	川元、田中、宮﨑、若松、牧田	教職員離任式

※教育委員会会議は、前項に開催状況の記載があるため本表からは除いてあります。
※指導主事訪問および全国大会出場激励会は、別途一覧表（次頁以降参照）があるため本表からは除いてあります。
※委員名の（　）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため出席予定行事が縮小または中止になったものです。

２－１ 指導主事学校訪問

	時　　期		出席委員名	活　動　内　容
1	前期	令和元年5月15日	川元、牧田、宮﨑	指導主事学校訪問（三国中１回目）
2		5月22日	川元、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（雄島小）
3		5月28日	川元、田中、牧田、若松	指導主事学校訪問（丸岡南中１回目）
4		5月30日	川元、田中	指導主事学校訪問（丸岡中１回目）
5		6月4日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（鳴鹿小）
6		6月5日	川元、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（平章小）
7		6月11日	川元、田中、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（高椋小１回目）
8		6月13日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（坂井中１回目）
9		6月14日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（磯部小１回目）
10		6月19日	川元、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（春江中１回目）
11		6月20日	川元、田中、宮﨑	指導主事学校訪問（木部小）
12		6月25日	川元、田中、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（兵庫小）
13		6月27日	川元、田中、牧田、宮﨑	指導主事学校訪問（春江小１回目）
14		6月28日	宮﨑、若松	指導主事学校訪問（三国南小）
16	後期	10月8日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（大石小）
17		10月9日	川元、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（春江中２回目）
18		10月10日	川元、田中、若松	指導主事学校訪問（高椋小２回目）
19		10月11日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（三国中２回目）
20		10月16日	川元、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（坂井中２回目）
21		10月17日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（東十郷小）
22		10月18日	川元、田中、牧田、宮﨑	指導主事学校訪問（春江西小）
23		10月24日	川元	指導主事学校訪問（磯部小２回目）
24		11月1日	川元、田中、牧田、宮﨑	指導主事学校訪問（明章小）
25		11月7日	宮﨑	指導主事学校訪問（三国西小）
26		11月8日	川元、牧田、若松	指導主事学校訪問（春江小２回目）
27		11月13日	川元、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（春江東小）
28		11月14日	川元、田中、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（大関小）
29		11月15日	川元、田中	指導主事学校訪問（丸岡南中２回目）
30		11月19日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（三国北小）
31		11月20日	川元、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（丸岡中２回目）
32		11月22日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（加戸小）
33		11月27日	川元、田中、牧田、宮﨑	指導主事学校訪問（長畝小）

２－２ 全国大会等出場激励会

	開催日	内　　容	所管課
1	平成31年4月24日	全国大会出場激励会（全国少年柔道大会）	生涯学習スポーツ課
2	令和元年7月8日	国際大会出場激励会（ウィーン バレエ国際大会）	文化課
3	7月10日	全国大会出場激励会（小学生卓球、小学生ソフトテニス、小学生柔道、小学生バドミントン、小学生剣道、小学生空手道）	生涯学習スポーツ課
4	7月18日	全国大会出場激励会（高等学校総合文化祭、高校放送コンテスト）	文化課
5	7月19日	インターハイ激励会	生涯学習スポーツ課
6	7月22日	全国大会出場激励会（社会人サッカー）	生涯学習スポーツ課
7	7月24日	全国大会出場激励会（小倉百人一首競技かるた中学生選手権）	文化課
8		全国高等学校定時制通信制体育大会出場激励会、全国大会出場激励会（中学生相撲、小学生ハンドボール、小学生軟式野球）	生涯学習スポーツ課
9	8月6日	全国大会出場激励会（ボッチャ、ビーチバレー、小学生陸上、小学生水泳）	生涯学習スポーツ課
10	8月8日	全国大会出場激励会（中学生少林寺拳法、中学生軟式野球、小学生卓球）	生涯学習スポーツ課
11	8月13日	全国中学校体育大会（陸上、ソフトテニス、柔道）、ＮＨＫ杯全国中学校放送コンテスト出場激励会	学校教育課
12	8月19日	全国大会出場激励会（全国高等専門学校体育大会水泳、ジャパンパラ水泳）	生涯学習スポーツ課
13	9月17日	全国大会出場激励会（小学生柔道、中学生バドミントン、中学生陸上）	生涯学習スポーツ課
14	9月20日	第74回国民体育大会出場激励会	生涯学習スポーツ課
15	10月3日	全国大会出場激励会（ソフトボール、中学生陸上）	生涯学習スポーツ課
16	10月16日	全国大会出場激励会（高校ロボット競技大会）	文化課
17	10月17日	全国大会出場激励会（フットサル）	生涯学習スポーツ課
18	10月24日	全国大会出場激励会（中学生空手道）	生涯学習スポーツ課
19	11月14日	全国大会出場激励会（定時制生徒生活体験発表大会）	文化課
20	11月18日	全国大会出場激励会（少林寺拳法、チアリーダー）	生涯学習スポーツ課
21	11月28日	全国大会出場激励会（バトントワーリング）	生涯学習スポーツ課
22	12月4日	全国大会出場激励会（高校マーチングバンド）	文化課
23	12月16日	全国大会出場激励会（中学生バレーボール）	生涯学習スポーツ課
24	12月19日	第97回全国高等学校サッカー選手権大会激励会	生涯学習スポーツ課
25	12月24日	全国大会出場激励会（フットサル）	生涯学習スポーツ課
26	令和2年2月19日	全国大会出場激励会（小学生ソフトテニス、中学生ソフトボール、高校生ソフトボール、フットサル）	生涯学習スポーツ課

※教育長が出席

３　委員会、審議会等の審議状況

名　　称	委員数	会　議 開催数	件　　名	種別	年月日
坂井市教育支援委員会	37(31)	6	・教育支援委員会 園児児童生徒の就学先個別判断・決定について ・教育支援委員専門委員会 園児児童生徒の就学相談について	協議	H31.4.18 R元.7.3 R元.7.31 R元.10.15 R元.11.21 R2.1.15
坂井市社会教育委員の会	15(5)	4	・令和元年度社会教育関係事業の概要について ・合宿通学事業 ・コミュニティセンター「リレー講座」について ・国際交流事業について	協議	R元.6.6 R元.9.3 R元.12.10 R2.3.27
坂井市スポーツ推進委員会	40(12)	15	・平成31年度事業計画について ・スポーツ推進委員会及び各部会の運営について ・北陸地区スポーツ推進委員研修会について ・ウォークラリー大会について ・スポレッシュ教室について ・ニュースポーツラリーについて ・ケーブルテレビによる競技紹介について ・令和元年度事業活動について ・令和2年度事業計画について	協議	H31.4.10 H31.4.17 H31.4.22 H31.4.24 R元.5.8 R元.5.15 R元.5.28 R元.6.19 R元.8.5 R元.8.27 R元.10.10 R元.11.29 R2.1.16 R2.2.6 R2.3.11
坂井市青少年愛護センター運営委員会	20(5)	2	・愛護センターの事業報告 ・愛護センターの事業計画 ・青少年の動向 ・補導活動、相談業務	協議	R元.6.25 R元.11.27
ワールドマスターズゲームズ2021関西坂井市実行委員会	19(0)	1	・設立総会 ・大会概要説明 ・令和元年度事業計画 ・令和元年度収支予算	協議	R2.1.29
坂井市文化財保護審議会	9(0)	3	・令和元年度事業計画について ・称念寺文書の新規指定について ・丸岡城シンポジウムの実施について ・文化財保存活用地域計画の策定について ・中庄のヤブツバキの防腐処理及び補強について ・大関東遺跡の発掘調査について ・国登録文化財候補について（旧大木道具店・酒井家住宅） ・高岳寺所蔵　刺繍種子胎蔵界中台八葉院曼荼羅の所在場所変更 ・瀧谷寺建造物群防災設備整備（補助）について ・令和元年度末事業報告 ・六呂瀬山古墳群の調査・整備について ・仏像調査について（辻） ・絵画調査について（本堂・大善寺・瀧谷寺） ・中元区山車屋台水引幕の調査について ・コウノトリ巣塔の建設について ・文化財台帳について ・県指定天然記念物　紀倍神社のオニヒバの調査について ・大関東遺跡の報告書について	会議 会議 会議	R元.7.16　R元.11.28 R2.3.25

３　委員会、審議会等の審議状況

名　　称	委員数	会　議 開催数	件　　名	種別	年月日
坂井市文化未来会議	12(4)	2	・先進地視察研修（石川県七尾市・青柏祭） ・今年度の文化課所管の事業経過について ・来年度予定の主な事業について　　・ ・次期改選について	視察 会議	R 元.5.5/5.6 R2.2.6
坂井市一筆啓上日本一 短い手紙の館運営審議会	6(1)	3	・令和元年度事業計画について ・令和元年度の事業経過および運営状況等の報告について ・令和元年度事業報告および次年度の運営計画について	会議 会議 会議	R元.7.16 R元.12.16 R2.3.26
六呂瀬山古墳群調査 整備委員会	4(0)	1	・委員委嘱及び副会長の選任 ・六呂瀬山古墳群の毀損状況について ・発掘調査場所の全体計画ならびに整備について	会議	R2.3.16
坂井市文化財保存活用 地域計画協議会	21(2)	2	・委員委嘱及び会長、副会長の選任 ・計画作成事業説明および今後のスケジュールについて ・調査および計画作成進捗状況の報告 ・次年度の事業予定について	会議 会議	R元.8.19 R2.3.1
丸岡城調査研究委員会	10(1)	0			
みくに龍翔館リニューアル 検討委員会	8(1)	1	・令和元年度事業経過報告 ・事業スケジュールについて	会議	R2.3.13
坂井市図書館協議会	11(8)	2	・図書館の概要について ・平成30年度事業報告について ・平成30年度決算報告について ・令和元年度事業計画について ・令和元年度坂井市立図書館利用状況、各館の行事報告 ・令和元年度主要事業および予算の概要について	協議	H31.7.18 R02.3.4

※委員数のうち（　）内は女性の委員数

４　教育委員会関係の許認可の状況

（１）文化財の指定状況

＜指定文化財の現状＞　　令和2年3月31日現在

区　　分	国			県指定	市		計
	指定	選定・選択	登録		指定	登録	
国　　宝	1						1
重要文化財	9						9
有形文化財			10	19	35 (−1)	3	67 (−1)
無形文化財							0
重要有形民俗文化財							0
有形民俗文化財					1		1
重要無形民俗文化財							0
無形民俗文化財				6	6		12
特別史跡							0
史　　跡	2			3	12	3	20
特別名勝							0
名　　勝	1						1
特別天然記念物							0
天然記念物	1			3	6		10
特別名勝天然記念物							0
名勝天然記念物	1						1
重要伝統的建造物群 保存地区							0
選定保存技術							0
登録記念物			1				1
合　　計	15	0	11	31	60	6	123 (−1)

※（　）内は年度内増減数

令和元年度解除（2件）
○有形文化財（市指定　古文書　2件）
　①紙本墨書称念寺縁起（令和元年12月17日解除）
　②称念寺所蔵勅書・綸旨（令和元年12月17日解除）
令和元年度指定（市指定　古文書　1件）
○有形文化財（市指定　古文書　1件）
　①称念寺文書（令和元年12月17日指定）

Ⅳ 教育委員会関係事業の取組実績

令和元年度事業別施策の成果報告書

坂井市教育委員会

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	001	教育委員会運営事業						決算書 P. 195	
中事業	01	教育委員会運営事業					所管部局	教育委員会事務局 教育総務課	

予算額 当初	決算額	不用額
2,684 千円	2,667 千円	17 千円
前年度 3,091 千円	3,040 千円	51 千円

主な特定財源		千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進するため、教育委員会および総合教育会議を開催する。また、学校教育、社会教育・体育および芸術分野で優秀な成績を収め、活躍した人などを表彰し、一層の振興を図る。

【事業の概要】

◆教育委員会運営事業　2,492 千円

- ○報酬（教育委員会委員４名）　2,400 千円
- ○旅費（費用弁償）　3 千円
- ○需用費（印刷製本費）　7 千円
- ○負担金　82 千円
  - 県市町女性教育委員の会負担金　10 千円
  - 県市町教育委員会連絡協議会負担金　52 千円
  - 県市町教育委員会連絡協議会総会負担金　20 千円

◆教育委員会表彰事業　175 千円

- ○報償費（記念品等）　170 千円
- ○需用費（消耗品費）　5 千円

【事業の成果と改善点等】

月1回の定例会および臨時会合わせて教育委員会を14回、また、総合教育会議を2回開催し、教育行政について協議を行った。

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費
大事業	051	教育委員会事務局事業						決算書 P. 199	
中事業	01	教育委員会事務局事業					所管部局	教育委員会事務局 教育総務課	

予算額 当初 補4号	決算額	不用額
9,156 千円	7,706 千円	1,450 千円
前年度 9,299 千円	8,128 千円	1,171 千円

主な特定財源			
	寄附金	指定寄附金	1,500 千円
	諸収入	奨学育英資金貸付金収入	1,343 千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図る。

【事業の概要】

◆教育委員会事務局事業　7,706 千円

- ○旅費（教育長・職員出張旅費）　72 千円
- ○交際費（教育長交際費）　334 千円
- ○需用費（消耗品費、食糧費）　174 千円
- ○委託料　1,148 千円
  - 土地建物鑑定評価委託料　300 千円
  - ストレスチェック委託料　123 千円
  - 中高連絡協議会事業委託料　725 千円
- ○使用料及び賃借料　208 千円
  - 車両借上料　199 千円
  - 有料道路通行料　9 千円
- ○負担金、補助及び交付金　5,670 千円
  - 負担金（坂井地区教育振興会負担金他）　3,670 千円
  - 補助金（小中学校教育振興費奨励金他）　2,000 千円
- ○貸付金（奨学育英資金貸付者　1人）　100 千円

◆省エネ対策事業　0 千円

【事業の成果と改善点等】

教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会等への支援を行い教育振興に取り組んだ。また、ストレスチェックを実施し、職員のメンタルヘルスの維持向上を図った。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大事業	051	小学校管理事業						決算書 P. 199	
中事業	01	小学校管理事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額 当初	補2号	補3号	決算額	不用額
309,605 千円			289,521 千円	20,084 千円
前年度 319,266 千円			301,864 千円	17,402 千円

主な特定財源			
国庫支出金	施設整備費補助金（ブロック塀・冷房設備対応臨時交付金）		2,488 千円
繰入金	まちづくり整備基金繰入金		50,000 千円
市債	小学校施設整備事業債		1,600 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予算額	303,699 千円	決算額	284,952 千円
前年度繰越分	繰越分予算額	5,906 千円	繰越分決算額	4,569 千円
翌年度への繰越額		0 千円		

【事業の目的】

市内の小学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内19小学校施設の適正な維持管理を行う。

【事業の概要】

◆小学校管理事業　本庁　189,576 千円

- ○賃金（臨時職員用務員）　17,639 千円
- ○旅費（用務員）　282 千円
- ○需用費（プール用消毒剤、修繕料他）　17,542 千円
- ○役務費（火災保険料他）　10,816 千円
- ○委託料（各種保守点検委託料他）　34,004 千円
- ○使用料及び賃借料（土地借上料、教育用コンピュータ他）　65,493 千円
- ○工事請負費（校舎屋根防水、校舎・体育館外壁他）　39,675 千円
- ○原材料費（机天板、椅子座面、グラウンド安定剤他）　1,717 千円
- ○備品購入費　2,408 千円
  （乾熱滅菌器、IT化推進モデル校 大型掲示装置、プロジェクター他）

◆小学校管理事業　各小学校　98,760 千円

市内19各小学校にて対応する維持管理費

- ○需用費（消耗品費、光熱水費他）　84,435 千円
- ○役務費（通信運搬費他）　5,057 千円
- ○委託料（各種保守点検料）　4,033 千円
- ○使用料及び賃借料（複写機リース料他）　1,875 千円
- ○備品購入費（シュレッダー、ブルーヒーター他）　3,360 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大事業	051	小学校管理事業						決算書 P. 199	
中事業	01	小学校管理事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

…【前頁より】

◆省エネ対策事業　1,185 千円

- ○使用料及び賃借料（デマンド監視システム使用料）　1,185 千円

【事業の成果と改善点等】

小学校の適正な維持管理を行い、教育環境の改善に取り組んだ。ICT環境整備については、IT化推進モデル校を指定し、大型掲示装置を整備した。また、施設修繕工事として、三国南小学校北校舎屋根の防水工事、東十郷小学校グラウンド改修工事等を行った。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大事業	101	小学校施設整備事業						決算書 P. 201	
中事業	01	小学校施設整備事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額 当初	補5号 補6号	決算額	不用額
856,916 千円		214,828 千円	642,088 千円
前年度 456,902 千円		402,955 千円	53,947 千円

主な特定財源			
国庫支出金	施設整備費補助金	46,970	千円
市債	合併特例事業債	114,300	千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予算額	814,116 千円	決算額	173,966 千円
前年度繰越分	繰越分予算額	42,800 千円	繰越分決算額	40,862 千円
翌年度への繰越額		635,216 千円		

【事業の目的】

児童の安全安心を確保し、災害に備えるために、建築後40年が経過し、かつ、以前の改修から20年を経過する学校について計画的に施設の大規模改造工事を行う。

また、GIGAスクール構想に基づく高速大容量のネットワーク環境を構築するため、校内LAN整備を行う。

【事業の概要】

○委託料	11,766 千円
・春江小学校校舎大規模改造工事＜Ⅰ期＞監理委託料	2,900 千円
・明章小学校校舎大規模改造工事実施設計業務委託料	8,866 千円
○工事請負費	203,062 千円
・特別教室空調設備設置工事（図書室・音楽室）	40,862 千円
・春江小学校校舎大規模改造工事＜Ⅰ期＞	162,200 千円
（ 翌年度繰越 ）	
○報償費	16 千円
○委託料	315,200 千円
・校内通信ネットワーク環境整備業務委託料	309,000 千円
・三国北小学校校舎大規模改造工事＜Ⅰ期＞監理委託料	6,200 千円
○工事請負費	320,000 千円
・三国北小学校校舎大規模改造工事＜Ⅰ期＞	320,000 千円

【事業の成果と改善点等】

教育環境の整備・改善のため、1校の校舎大規模改造工事（Ⅰ期）と、1校の校舎大規模改造工事に向けて実施設計業務委託を行った。1校の校舎大規模改造工事とGIGAスクール構想に基づく校内通信ネットワーク環境整備は来年度に繰越して施工する。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
大事業	051	中学校管理事業						決算書 P. 205	
中事業	01	中学校管理事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額 当初	補2号 補3号	決算額	不用額
154,561 千円		146,762 千円	7,799 千円
前年度 106,042 千円		101,995 千円	4,047 千円

主な特定財源			
繰入金	教育振興整備基金繰入金	756	千円
寄附金	指定寄附金	1,050	千円
繰入金	まちづくり整備基金繰入金	25,000	千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内の中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内5中学校施設の適正な維持管理を行う。

【事業の概要】

◆中学校管理事業　本庁	97,960 千円
○旅費（用務員）	15 千円
○需用費（修繕料他）	4,385 千円
○役務費（火災保険料他）	3,530 千円
○委託料（各種保守点検委託料他）	18,234 千円
○使用料及び賃借料（土地借上料、教育用コンピュータ他）	20,500 千円
○工事請負費（三国中屋内運動場屋根防水改修工事）	17,358 千円
○原材料費（机天板、椅子座面、グラウンド安定剤）	665 千円
○公有財産購入費（丸岡中グラウンド用地）	24,566 千円
○備品購入費（三国中武道場畳、大型掲示装置(ICT化推進事業)他）	8,707 千円
◆中学校管理事業　各中学校	48,490 千円
市内5中学校にて対応する維持管理費	
○需用費（消耗品費、光熱水費他）	43,316 千円
○役務費（通信運搬費他）	2,311 千円
○委託料（各種保守点検料）	1,482 千円
○使用料及び賃借料（複写機リース料他）	646 千円
○備品購入費（丸岡中式典用看板、坂井中教卓他）	735 千円
◆省エネ対策事業	312 千円
○使用料及び賃借料（デマンド監視システム使用料）	312 千円

【事業の成果と改善点等】

中学校の適正な維持管理に努めた。また、省エネ対策として、デマンド監視システムを活用し適正な運用に努めた。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
大事業	101	中学校施設整備事業						決算書 P. 207	
中事業	01	中学校施設整備事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額	当初 補6号	決算額	不用額
	202,600 千円	68,358 千円	134,242 千円
前年度	72,097 千円	497 千円	71,600 千円

主な特定財源			
国庫支出金	施設整備費補助金（ブロック塀・冷房設備対応臨時交付金）	18,071 千円	
		千円	
		千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予算額	131,000 千円	決算額	0 千円
前年度繰越分	繰越分予算額	71,600 千円	繰越分決算額	68,358 千円
翌年度への繰越額	131,000 千円			

【事業の目的】

市内中学校の特別教室のうち利用頻度が高い教室について、熱中症対策のための空調設備を設置する。また、GIGAスクール構想に基づく高速大容量のネットワーク環境を構築するため、校内LAN整備を行う。

【事業の概要】

○工事請負費 68,358 千円

・特別教室空調設備設置工事 68,358 千円

＜音楽室・理科室＞

（ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業）

（ 翌年度繰越 ）

○委託料 131,000 千円

・校内通信ネットワーク環境整備業務委託料 131,000 千円

施工場所：全中学校

整備内容：LANケーブル敷設替、アクセスポイント設置、電源キャビネット設置他

【事業の成果と改善点等】

市内全中学校の特別教室（音楽室・理科室）へ空調設備を設置した。GIGAスクール構想に基づく校内通信ネットワーク環境整備は、来年度に繰り越して施工する。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	07	社会教育施設費
大事業	001	キンダーホール管理運営事業						決算書 P. 213	
中事業	01	キンダーホール管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額	当初	決算額	不用額
	1,481 千円	1,340 千円	141 千円
前年度	1,312 千円	1,305 千円	7 千円

主な特定財源		
		千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

施設老朽化のため、平成31年4月1日より条例・規則を廃止し、施設利用を停止した。解体に向けての調査を行う。

【事業の概要】

○役務費（電話料、火災保険料） 11 千円

○委託料 1,329 千円

・アスベスト分析調査委託料 432 千円

・登記業務委託料 897 千円

【事業の成果と改善点等】

解体に向けての調査を行った。併せて、解体に向けての地元協議を行った。

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	14	教育振興整備基金費
大事業	001	教育振興整備基金						決算書 P. 233	
中事業	01	教育振興整備基金					所管部局	教育委員会事務局 教育総務課	

予算額	当初 補7号	決算額	不用額
	12,604 千円	12,604 千円	0 千円
前年度	8 千円	4 千円	4 千円

主な特定財源			
財産収入	教育振興整備基金利子	4 千円	
寄附金	指定寄附金	12,600 千円	
		千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

坂井市の将来を担う子どもたちを、健全に育成することを目的とした教育の振興及び教育施設の環境整備に必要な財源に充てるため、教育振興整備基金を設置している。

【事業の概要】

○積立金 12,604 千円

教育振興整備基金利子 4 千円

教育振興整備基金（JA花咲ふくい、JAはるえ指定寄附金） 12,600 千円

平成30年度末現在高 ①	令和元年度中増減額 取崩額 ②	令和元年度中増減額 積立額 ③	令和元年度末現在高①-②+③
36,342 千円	1,540 千円	12,604 千円	47,405 千円

【事業の成果と改善点等】

利子分および指定寄附金を積み立て、適切に基金管理を行った。

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	051	教育相談事業						決算書 P. 197	
中事業	01	教育相談事業					所管部局	教育委員会事務局 学校教育課	

予算額	当初	決算額	不用額
	14,696 千円	14,518 千円	178 千円
前年度	16,214 千円	16,122 千円	92 千円

主な特定財源			
県支出金	スクールソーシャルワーカー活用事業委託金	2,121 千円	
		千円	
		千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内小中学校の児童生徒の不登校対策として、早期の学級復帰への支援、併せて保護者に対して子どもの理解や対応に関する指導等、教育相談業務の充実を図る。

【事業の概要】

◆教育相談事業 10,823 千円

○賃金	指導員5名	9,263 千円
○報償費	協力者謝礼他	342 千円
○旅費		50 千円
○需用費	消耗品費、光熱水費、修繕料他	752 千円
○役務費	電話料、火災保険料、傷害保険料	113 千円
○委託料	各種保守点検料他	100 千円
○使用料及び賃借料	インターネット使用料、車両借上料他	78 千円
○備品購入費		120 千円
○負担金	全国適応指導教室連絡協議会会費	5 千円

◆スクールソーシャルワーカー活用事業 3,695 千円

○賃金	2名	3,608 千円
○旅費		87 千円

【事業の成果と改善点等】

不登校の児童生徒に対し、早期の学級復帰及び社会的自立に向けて、適応指導教室の指導員等と学校が連携して本人の特性について共有し、保護者の支援や児童生徒の個別指導を行った。また、学校の対応が困難な事案は、スクールソーシャルワーカーが連携し、関係機関に繋げるなど、児童生徒本人やその家庭に対して支援を行った。

【事業の実績等】

適応指導教室通室者復帰率		通室者数	復帰者数	復帰率
	R元	21人	17人	80.9%
	H30	22人	19人	86.3%

不登校児童生徒数		小学生	中学生
	R元	28人	73人
	H30	21人	61人

*不登校による欠席日数が30日以上の人数

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	101	学校・学級運営支援事業						決算書 P. 197	
中事業	01	学校・学級運営支援事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	92,178 千円	78,911 千円	13,267 千円
前年度	88,497 千円	79,718 千円	8,779 千円

主な特定財源			
	県支出金	学校運営支援員派遣事業補助金	2,816 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内の小中学校における学級運営の円滑化のため、学習面、生活面で特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行う学級サポーターを配置するなど、教育環境の充実を図る。

小学校英語の教科化により、教員の指導力や児童生徒の英会話力の向上が求められていることから、教科指導員を配置し、英語の授業内容の強化を図る。

【事業の概要】

◆学級運営支援事業　74,472 千円

○賃金	学級サポーター、教科指導員	74,170 千円
○報償費	講師謝礼	30 千円
○旅費	特別旅費	10 千円
○委託料	旅行業務委託料	200 千円
○使用料及び賃借料	車両借上料	62 千円

◆学校運営支援事業　4,439 千円

【負担割合】　国 1/3 県 1/3

○賃金	学校運営支援員	4,439 千円

【事業の成果と改善点等】

発達障がい等により、学習面や生活面で特別に支援を必要とする児童生徒のために、学級サポーターを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化が図られた。

英語の教科指導員を配置することによって、特に小学校教員の英会話や授業の進め方のスキルアップにつながった。

また、コピーや印刷等、教員の事務負担軽減のために、学校運営支援員を配置して教員の多忙化解消が図られた。

【事業の実績等】

	R元実績	H30実績
学級サポーター数	65人	59人
中学校生徒相談員数（相談室）		6人

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 201	
中事業	01	小学校教育振興事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	61,327 千円	57,667 千円	3,660 千円
前年度	59,798 千円	56,209 千円	3,589 千円

主な特定財源			
	県支出金	地域と進める体験推進事業補助金	1,800 千円
	県支出金	ふくいの地場産学校給食事業補助金	400 千円
	繰入金	まちづくり整備基金繰入金	11,170 千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

児童に生きる力を教え、育むことを目指した、創意工夫された特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

【事業の概要】

◆小学校教育振興事業　本庁　34,074 千円

市内19小学校の統括的な教育振興事業

○賃金	外国語指導助手　9名	5,303 千円
○報償費	卒業記念品他	977 千円
○需用費	教材用消耗品、教育用印刷費	1,721 千円
○委託料	各作品展運営委託料、備品等処分委託料	422 千円
○使用料及び賃借料	校外活動車両借上料他	13,117 千円
○備品購入費	学校図書館用図書購入費	12,158 千円
○負担金	特別支援学級研修会負担金他	376 千円

◆小学校教育振興事業　各小学校　19,893 千円

市内19小学校にて対応する教育振興事業

○報償費	協力者謝礼	136 千円
○需用費	教材用消耗品費	11,026 千円
	印刷製本費（卒業証書・保健調査票等）	555 千円
	教材備品修繕料	389 千円
○備品購入費	教材用備品	7,787 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 201	
中事業	01	小学校教育振興事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

…【前頁より】

◆地域と進める体験推進事業　3,700 千円

【実施校】　市内18校+1校（県事業期間終了）

【負担割合】　県1/2（１校100千円限度）、市1/2

〇委託料（地域と進める体験学習委託料）　3,700 千円

小学校１校あたり200千円・18校分　3,600 千円

実施校	事業年度	主な活動計画内容
三国北小	H29～R元	地域行事（祭、帯のまち流し）参加、三国の歴史調べ魅力発信
雄島小	H30～R2	地域の自然（海・山）観察体験、サーフィン体験学習
加戸小	H29～R元	地元畑作勤労生産学習（加戸のお茶・サツマイモ）、地域との文化交流
三国西小	H30～R2	らっきょう体験学習・調理、地域の伝統・文化の学習
平章小	H30～R2	丸岡城の学習・清掃・PR活動、古城祭り参加、米づくり体験
長畝小	H29～R元	米づくり・地産地消学習、長畝・竹田地区歴史学習
高椋小	H30～R2	米づくり・野菜づくりおよび販売、地域の歴史調べ
鳴鹿小	H29～R元	どろんこ教室の実施、まほろば学習、地域交流（いも作り）
磯部小	H30～R2	蛍の舞う水辺の里づくり、生き物調査、米づくり体験
明章小	H29～R元	米づくり、地域の魅力調査と地域高齢者との交流事業
春江小	H30～R2	防災学習、地域の防災マップ作成・発表及び地域との交流
春江西小	H29～R元	米づくり、野菜づくり、地域との交流
大石小	H30～R2	地域交流事業（米づくり、ユリづくり）
春江東小	H29～R元	アーモンドの里づくりによる地域交流事業
東十郷小	H30～R2	米づくり、野菜づくり、花いっぱい運動参加、地域行事への参加
大関小	H29～R元	米づくり、野菜づくり、危険個所看板づくり
兵庫小	H30～R2	米・野菜づくり、地域行事への参加等、地域との交流
木部小	H29～R元	もち米づくりと笹もち作成販売、野菜づくり

※県補助による各学校３年間の事業

小学校１校あたり100千円・１校分　100 千円

実施校	事業年度	主な活動計画内容
三国南小	R元	地産地消や収穫感謝祭、伝統行事や伝統芸能への参加

【事業の成果と改善点等】

英語力向上のため、外国語指導助手（AET）を小学校3年～6年のクラスに配置し（3・4年生は年16時間、5・6年生は年35時間）、児童の英語を活用したコミュニケーション能力の向上を図った。

また、まちづくり整備基金を活用して、学校図書館の辞書や百科事典等の図書の充実を図った。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 203	
中事業	06	小学校児童健康管理事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	17,729 千円	17,172 千円	557 千円
前年度	18,265 千円	18,036 千円	229 千円

主な特定財源			
県支出金	子どもの目と歯の健康プロジェクト事業補助金	164	千円
諸収入	雑入（日本スポーツ振興センター負担金）	2,357	千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

小学校における児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】

学校保健安全法に基づき、児童の健康管理のため各種健康診断を行う。

・内科及び歯科（全学年）、眼科（2年・5年）、耳鼻科（1年～3年）

・寄生虫（1年～3年）、尿（全学年）、心電図（1年）

〇報償費	医師・歯科医師・薬剤師手当	10,192 千円
〇需用費	事務用消耗品・印刷製本費	318 千円
〇役務費	特定自主検査手数料	20 千円
〇委託料	健康診断委託料	1,882 千円
〇負担金	日本スポーツ振興センター負担金	4,760 千円
	加入者数　5,116 人　　給付件数　262件	

【事業の成果と改善点等】

学校医及び学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭により児童一人ひとりの健康課題について指導を行い、児童の健康保持・増進を図った。

また、県の補助を受け、秋の歯科健診を実施し、保健指導、経過観察および治癒への継続的なケアを行い、う歯の治癒率の向上を図った。

【事業の実績等】

	R元実績	H30実績
スポーツ保険給付件数	262件	329件

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 203	
中事業	21	学校生活ボランティア推進事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	168 千円	134 千円	34 千円
前年度	158 千円	142 千円	16 千円

主な特定財源			
県支出金	学校生活ボランティア推進事業費補助金	127 千円	
		千円	
		千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

学校活動において、保護者及び地域の人たちのボランティアによる活動を取り入れ、児童の学校生活を支援することで、地域と連携したきめ細かな教育体制の充実を図る。

【事業の概要】

○役務費　傷害保険料　134 千円
　加入者数　382人

【事業の成果と改善点等】

市内すべての小学校において、読み聞かせや収穫体験等の活動に対し、学校生活ボランティアとして地域の方々の協力をいただいた。

特に収穫体験については、農業の専門性を持った地域の方々から直接学ぶことにより、地域力を活かした教育が実現した。

【事業の実績等】

	R元実績	H30実績
加入者数	382人	406人

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 203	
中事業	26	ふれあい交流事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	4,712 千円	4,114 千円	598 千円
前年度	4,878 千円	4,275 千円	603 千円

主な特定財源			
寄附金	指定寄附金	167 千円	
		千円	
		千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市の将来を担う子どもたちが、様々な交流を通して、各地域の個性と特色を尊重するとともに自らの地域を再認識し、郷土に対する愛着や誇りの気持ちを持てるよう、子どもたち同士の交流、地域との交流、小中学校間の交流を促進する。

【事業の概要】

○報償費	協力者謝礼	21 千円
○需用費	教材用消耗品費	25 千円
	食糧費	77 千円
○委託料	事業運営委託料（音楽会、連合運動会）	200 千円
	圃場管理委託料	102 千円
○使用料及び賃借料	車両借上料	3,689 千円

【事業の成果と改善点等】

市内の全小学校において、地域交流事業、小中連携事業、音楽交流会、連合運動会、自然教室を実施した。ふれあい交流事業については、県や市の魅力などを体験できるような取り組みを継続して実施する。

また、時代とともに変化する学習環境の中で、子どもたちに必要な事業を検討する。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 203	
中事業	31	学力充実推進事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	2,141 千円	2,101 千円	40 千円
前年度	2,199 千円	2,150 千円	49 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

児童一人ひとりの「確かな学力」の育成状況を正しく把握するとともに学習課題を分析し、児童の学習改善や教員の授業における工夫改善に活用するために全学年での学力調査を実施し、児童の学力向上と教員の指導力向上を図る。

【事業の概要】

小学校6年生を対象に行われる全国学力・学習状況調査の日程にあわせて、全小学校の2～5年生の国語と算数の2教科について坂井市学力調査を行う。

調査の結果を踏まえ、各小学校における傾向や課題を見つけて、これを解決することや対策を見出すことを目的として、各小学校の研究主任によるワークショップを開催し、学力向上に向けた授業づくりの研究等を行う。

○委託料　学力調査委託料　2,101 千円
受験者数　6,712人（2教科延べ）

【事業の成果と改善点等】

全国で実施した大規模モニター調査によって標準化された「偏差値」に基づき、坂井市における児童の「確かな学力」を分析している。

また、各小学校においては、その学校の児童の調査結果に基づく継続的・実践的な取り組みにより、学力向上と教員の指導力向上を図った。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	051	児童就学援助事業						決算書 P. 203	
中事業	01	児童就学援助事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	32,000 千円	29,835 千円	2,165 千円
前年度	30,000 千円	27,594 千円	2,406 千円

主な特定財源			
国庫支出金	要保護児童生徒援助費補助金	47	千円
国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	1,777	千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

学校教育法第19条の規定に基づき、経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】

経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。

○扶助費　特別支援教育就学援助費　3,554 千円
要・準要保護児童就学援助費　26,281 千円

【事業の成果と改善点等】

就学援助を必要とする児童に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。

要・準要保護児童就学援助費については、国の基準単価に基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。

【事業の実績等】

	R元実績	H30実績	増減
特別支援教育就学援助人数	116人	96人	20人
要・準要保護児童就学援助人数	407人	380人	27人

要・準要保護児童就学援助人数に新1年生入学準備金対象者を含む

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	101	小学校通学支援事業						決算書 P. 203	
中事業	01	小学校通学支援事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	95,320 千円	92,100 千円	3,220 千円
前年度	94,769 千円	89,441 千円	5,328 千円

主な特定財源			
諸収入	雑入（スクールバス利用者協力金）	5,887 千円	
		千円	
		千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内の小学校に一定距離を超える地区から通学する児童を対象にスクールバスの運行や路線バスの活用による通学支援を実施して、安全・安心な通学の確保を図る。

【事業の概要】

通学距離に応じて、委託スクールバスの運行や路線バス利用料金の補助を行う。

区分	要件
１年生～３年生	学校からの距離で、概ね1.5km以上の地区
４年生～６年生	学校からの距離で、概ね2.0km以上の地区 冬期間（12月～2月）のみ1.5km以上の地区

※利用期間は4月～3月（8月は除く）

○需用費　乗車証印刷製本費　30 千円
○委託料　84,752 千円
・スクールバス運行　三国地区（通年2台・冬期2台）
丸岡地区（通年6台・冬期8台）
春江地区（通年2台・冬期4台）
坂井地区（通年3台・冬期4台）
○使用料及び賃借料　車両借上料　三国地区　139 千円
○補助金
・通学費補助金（三国地区）　6,124 千円
・スクールバス停建設補助金（三国町黒目他）　1,055 千円

【事業の成果と改善点等】

通学距離が一定距離以上の地区の児童を対象として、スクールバスの委託運行や路線バスの利用補助を行うことにより、安全で安心な通学手段を確保することができた。第2子以降の負担金を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を行った。

【事業の実績等】

	R元実績	H30実績	増減
バス利用者数	1,327人	1,340人	△13人

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 207	
中事業	01	中学校教育振興事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初　流用	決算額	不用額
	33,342 千円	32,646 千円	696 千円
前年度	34,221 千円	33,091 千円	1,130 千円

主な特定財源			
県支出金	地域と進める体験推進事業補助金	400 千円	
県支出金	道徳教育総合推進事業委託金	99 千円	
県支出金	環境・エネルギー教育支援事業補助金	1,954 千円	

予算流用(増減)額	190 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

生徒に生きる力を教え、育むことを目指した、創意工夫された特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を育成し、個性を生かす教育の充実を図る。

【事業の概要】

◆中学校教育振興事業　本庁　19,549 千円
市内５中学校の統括的な教育振興事業
○賃金　学校図書館司書　5名　11,886 千円
○報償費　卒業記念品（印鑑）　649 千円
○旅費　21 千円
○需用費　教材用消耗品費　5 千円
○委託料　学校教材備品等処分委託料　738 千円
○使用料及び賃借料　特別支援学級交流会車両借上等　252 千円
○備品購入費　図書館用図書購入費　5,830 千円
○負担金　県特別支援学級設置校学校長会負担金　13 千円
坂井地区特別支援学級合同学習会負担金　155 千円

◆中学校教育振興事業　各中学校　10,048 千円
市内５中学校にて対応する教育振興事業
○報償費　協力者謝礼　60 千円
○需用費　教材用消耗品費　5,898 千円
印刷製本費（卒業証書・保健調査票等）　993 千円
教材用備品修繕料　349 千円
○役務費　職場体験傷害保険料（２年生）　125 千円
○備品購入費　教材用備品　2,623 千円

◆環境･エネルギー教育支援事業　1,955 千円
○備品購入費　教材用備品　1,955 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 207	
中事業	01	中学校教育振興事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

…【前頁より】

◆キャリア教育支援事業　94 千円

○報償費　講師謝礼、協力者謝礼　38 千円
○需用費　事務用消耗品費　43 千円
○使用料及び賃借料　13 千円

◆地域と進める体験推進事業　900 千円

【実施校】　4校+1校（県事業期間終了）
【負担割合】　県1/2（１校200千円限度）、市1/2

○委託料（地域と進める体験学習委託料）　800 千円
中学校１校あたり200千円・4校分

実施校	事業年度	主な活動計画内容
丸岡中	H30～R2	ふるさと調査・魅力発信（東京・金沢）、職場体験等
丸岡南中	H29～R元	ふるさと地域学習（地域のＰＲ・調査活動等）地域交流事業の企画開催
春江中	H30～R2	伝統産業体験、職場体験、地域ＰＲ活動
坂井中	H30～R2	フラワーロード大作戦、地域行事（夏まつり）への参加

＊県補助による各学校３年間の事業
中学校１校あたり100千円・1校分　100 千円

実施校	事業年度	主な活動計画内容
三国中	R元	ふるさと調査及び他市町見学、職業講演会、清掃活動

◆道徳教育総合推進事業　100 千円

【実施校】　春江中学校
【負担割合】　県 10/10

○需用費　事務用消耗品費　100 千円

【事業の成果と改善点等】

各中学校に１名ずつ配置している学校図書館司書と教育委員会が連携して、学校図書館における生徒の意欲的な学習活動や読書活動の充実を推進している。

また、キャリア教育では、それぞれの中学校の生徒が職業体験などを実施した。キャリアフォーラムが市内で開催され、各学校から参加を得て、生徒自身が坂井市の魅力や特徴、そして自身の将来について考える機会となった。

地域と進める体験推進事業においては、全中学校の生徒が自らの地域について調査学習したり、地域行事に参加したりして、地域に誇りや愛着を持つ生徒の育成に取り組んだ。今後も継続して実施していく。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 207	
中事業	06	中学校生徒健康管理事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初　流用	決算額	不用額
	7,484 千円	7,298 千円	186 千円
前年度	7,816 千円	7,633 千円	183 千円

主な特定財源	諸収入	雑入（日本スポーツ振興センター負担金）	1,179 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	△ 190 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

中学校における生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】

学校保健安全法に基づき、生徒の健康管理のため各種健康診断を行う。
・内科、歯科健診の実施（全学年）
・尿（全学年）、心電図（1年）検査の実施

○報償費　医師・歯科医師・薬剤師手当　3,214 千円
○需用費　健診票等印刷費　78 千円
○役務費　特定自主検査手数料　5 千円
○委託料　健康診断委託料　1,602 千円
○負担金　日本スポーツ振興センター負担金　2,399 千円
加入者数　2,574人　　給付件数　316件

【事業の成果と改善点等】

学校医及び学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭により生徒一人一人の健康課題について指導を行い、生徒の健康保持・増進を図った。

【事業の実績等】

	R元実績	H30実績
スポーツ保険給付件数	316件	415件

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 207	
中事業	16	クラブ活動推進事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初 補3号	決算額	不用額
	28,748 千円	25,928 千円	2,820 千円
前年度	28,176 千円	24,577 千円	3,599 千円

主な特定財源			
県支出金	地域スポーツ指導者配置事業補助金	366	千円
県支出金	部活動指導員配置促進事業補助金	1,830	千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

学校教育の一環として、課外活動であるクラブ活動を実施し、技術力・競技力の向上を図るとともに、出場する全国大会などの部活動の実践の機会を支援することにより、生徒の自主性、意欲の向上、集団としての規律等の社会性を育てる。

【事業の概要】

◆クラブ活動推進事業 22,041 千円

○報償費 激励費 3,229 千円

部活動において大会等（北信越中学校総合競技大会、全国中学校体育大会等）に出場する生徒及び指導者に対する経費の一部を支給。

・北信越中学校総合競技大会（新潟県内） 1,412 千円
団体8種目、55人・個人7種目、32人
【出場種目】陸上（男女）・水泳・バスケットボール（男）・軟式野球
ソフトテニス（女）・柔道（男女）・剣道（女）・相撲・新体操
・全国中学校体育大会（近畿地方の各県） 164 千円
【出場種目】陸上（女）・ソフトテニス（女）・柔道（男）
・北陸吹奏楽コンクール3校（石川県金沢市） 526 千円
・ＮＨＫ杯全国中学校放送コンテスト（東京都） 232 千円
・東日本学校吹奏楽大会（石川県金沢市） 150 千円
・中部日本吹奏楽コンクール（静岡県浜松市） 663 千円
・創造アイディアロボットコンテスト（愛知県名古屋市） 8 千円
・北陸アンサンブルコンテスト（福井市） 74 千円

○委託料 中学校クラブ活動競技力向上委託料 16,312 千円

強化練習会等競技力の向上を目的とする事業を各中学校に委託。

・三国中学校 （480人 25ｸﾗﾌﾞ） 3,556 千円
・丸岡中学校 （546人 23ｸﾗﾌﾞ） 3,501 千円
・丸岡南中学校 （366人 19ｸﾗﾌﾞ） 2,705 千円
・春江中学校 （691人 24ｸﾗﾌﾞ） 3,920 千円
・坂井中学校 （377人 18ｸﾗﾌﾞ） 2,630 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 207	
中事業	16	クラブ活動推進事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

…【前頁より】

○備品購入費 吹奏楽部楽器購入費 2,500 千円
・三国中学校（テナーサクソフォン）
・丸岡中学校（クラリネット、アルトサクソフォン）
・丸岡南中学校（B♭トランペット、フルート）
・坂井中学校（チューバ、ドラムセット）

◆地域スポーツ指導者配置事業 1,129 千円
【実施校】 市内5中学校 17人
【負担割合】 県 1/3
○報償費 指導謝礼 1,098 千円
○役務費 傷害保険料 31 千円

◆部活動指導員配置事業 2,758 千円
【実施校】 市内4中学校（三国中、丸岡南中、春江中、坂井中） 11人
【負担割合】 国 1/3 県 1/3
○賃金 臨時職員賃金 2,758 千円

【事業の成果と改善点等】

クラブ活動の環境が整備されたことにより、生徒の技術力・競技力が向上し、北信越大会や全国大会等への出場機会が増え、生徒の更なる意欲向上につなげることができた。

教員の働き方改革の対策の一つとして、また、生徒のスポーツ活動における技術力向上のため、外部指導者を配置した。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	051	生徒就学援助事業						決算書 P. 207	
中事業	01	生徒就学援助事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	38,000 千円	28,591 千円	9,409 千円
前年度	33,800 千円	29,805 千円	3,995 千円

主な特定財源			
国庫支出金	要保護児童生徒援助費補助金	35	千円
国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	793	千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】

経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。

○扶助費

特別支援教育就学援助費　1,587 千円

要・準要保護生徒就学援助費　27,004 千円

【事業の成果と改善点等】

就学援助を必要とする生徒に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。

要・準要保護児童就学援助費については、国の基準単価に基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。

【事業の実績等】

	R元実績	H30実績	増減
特別支援教育就学援助人数	34人	32人	2人
要・準要保護生徒就学援助人数	226人	259人	△33人

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	101	中学校通学支援事業						決算書 P. 209	
中事業	01	中学校通学支援事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初　補3号	決算額	不用額
	60,222 千円	56,548 千円	3,674 千円
前年度	55,922 千円	51,843 千円	4,079 千円

主な特定財源			
諸収入	雑入（スクールバス利用者協力金）	5,683	千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内の中学校に通学する生徒に統一した支援を行うため、学校からの一定距離以上の地区を対象にスクールバスを運行し、遠距離通学の解消と、より安全、安心な通学の確保を図る。

【事業の概要】

通学距離が一定の基準を超える通学者に対して、スクールバスの委託運行や路線バス利用料金の補助を行う。

区分	
全学年	学校からの距離で、概ね4.0km以上の地区 冬期間（12月～2月）のみ3.0km以上の地区

※利用期間は4月～3月（8月は除く）

○委託料　53,781 千円

・スクールバス運行　三国地区（通年３台・冬期５台）
丸岡地区（通年１台・冬期２台）
春江地区（冬期３台）
坂井地区（通年１台・冬期３台）

○補助金（通学バス運行支援事業補助金）　丸岡南中学校区　2,767 千円

【事業の成果と改善点等】

通学距離が一定の基準を超える生徒を対象に、スクールバスの委託運行や通学費の補助を行うことにより、遠距離通学の解消と安全、安心な通学を確保することができた。第2子以降の負担金を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を行った。

また、地域からの要望により、地域団体が主体的に取り組む通学バス運行についての経費支援について、通学バス運行支援事業補助金に基づいて交付を行った。

【事業の実績等】

	R元実績	H30実績	増減
バス利用者数	611人	592人	19人

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 227	
中事業	01	学校給食管理事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額 当初	決算額	不用額
98,387 千円	77,152 千円	21,235 千円
前年度 92,737 千円	78,548 千円	14,189 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

○賃金 77,013 千円

丸岡地区自校調理場調理師	11 名	
三国学校給食センター調理師	16 名	
春江坂井学校給食センター調理師	25 名	

○報償費	研修講師謝礼	20 千円
○旅費	研修旅費	33 千円
○需用費	料理講習会用材料費	82 千円
○負担金	研修参加負担金	4 千円

【事業の成果と改善点等】

新型コロナウイルス感染症対策のため、3月2日より学校が臨時休校したことにより、給食の実施回数が例年より少なくなった。

丸岡自校式や三国、春江坂井学校給食センターにおける給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、臨時職員の確保等、安定した調理体制の確立を図った。

また、管理栄養士や給食調理員を対象とした研修の実施、衛生管理等の向上に努めた。

さらに、地産地消を推進するために、市産の若狭牛を使用した「ビーフシチュー」「牛丼」やいちほまれ、ふくいサーモンを使用した給食を全小中学校で提供した。また、地域の食材についての学習として、メロン・白茎ごぼう・大豆を給食を通じて行った。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 231	
中事業	16	丸岡学校給食管理事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額 当初	決算額	不用額
235,437 千円	202,249 千円	33,188 千円
前年度 235,897 千円	223,028 千円	12,869 千円

主な特定財源			
	諸収入	雑入（小学校給食負担金）	86,691 千円
	諸収入	雑入（中学校給食負担金）	49,291 千円
	諸収入	雑入（厨房設備使用料他）	1,510 千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

◆丸岡学校給食管理事業　本庁　6,474 千円

○旅費	調理師研修会参加時普通旅費	10 千円
○需用費	消耗品費（給食衛生用、給食用他）	1,551 千円
	修繕料（給食用器具等）	853 千円
	賄材料費（コシヒカリ給食推進事業）	190 千円
○役務費	検査手数料（食材・調理師腸内細菌検査）	900 千円
○委託料	調理場内害虫駆除委託料	744 千円
○備品購入費	給食用備品購入費	2,226 千円

◆丸岡学校給食管理事業　丸岡　195,775 千円

自校式5校2園（平章小・長畝小・高椋小・磯部小・明章小・高椋幼・磯部西幼）

○需用費	消耗品費（給食用消耗品費他）	1,585 千円
	光熱水費（ガス）	6,565 千円
	賄材料費（給食材料費及び牛乳代）	86,667 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 231	
中事業	16	丸岡学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

…【前頁より】

民間委託3校（丸岡中・丸岡南中・鳴鹿小）

○需用費	消耗品費（給食用消耗品費）		82 千円
	賄材料費（給食材料費及び牛乳代）		10,358 千円
○委託料	学校給食調理業務等委託料		90,518 千円
・Cネットふくい委託分（鳴鹿小）		10,091 千円	
・Cネットふくい委託分（丸岡南中）		37,879 千円	
・（有）ランチサービス委託分（丸岡中）		42,548 千円	

給食の状況	給食人員（日）	給食延数
	2,960人	518,166食

【事業の成果と改善点等】

丸岡の学校給食については、自校式および調理業務委託により実施し、学校給食衛生管理基準に基づき適正な衛生管理に努めた。

また、給食の食材確保については、地元業者や地場産を中心とした安全・安心な食材の購入を基本に、おいしく栄養バランスのとれた学校給食の提供を図った。

今後も管理栄養士が中心となり、新鮮で安全な食材の質と量の供給体制について検討し、地場産食材使用率の向上に努める。

【事業の実績等】

地場産（県産）食材使用率（実績）	R元	H30
	62.3%	50.2%

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	101	学校給食施設建設事業						決算書 P. 231	
中事業	01	学校給食施設建設事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額 当初	決算額	不用額
1,274,648 千円	1,273,910 千円	738 千円
前年度 228,933 千円	227,326 千円	1,607 千円

主な特定財源			
市債	合併特例事業債	1,108,800 千円	
繰入金	まちづくり整備基金繰入金	80,000 千円	
		千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

老朽化が著しい三国学校給食センターを、学校給食の提供における様々な課題点を踏まえ、園児、児童、生徒に安全で安心な学校給食を提供するために、国の学校給食衛生管理基準等に適合した施設に令和2年4月からの提供開始に向けて整備する。

【事業の概要】

○需用費（給食用消耗品費（食器等））		24,174 千円
○役務費（申請手数料）		488 千円
○委託料		11,895 千円
・監理委託料	10,109 千円	
・コンサルティング委託料	620 千円	
・緑地植栽委託料	1,166 千円	
○工事請負費		921,785 千円
○備品購入費		315,568 千円
・施設用備品購入費	6,919 千円	
・厨房機器購入費	253,260 千円	
・給食用備品購入費	55,389 千円	

【事業の成果と改善点等】

平成30年9月に建設に着手し、令和元年10月末に完成した。

また、調理および洗浄業務の民間委託先を決定し、令和2年4月からの供用開始に向けた準備を計画的に行った。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 227	
中事業	06	三国学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 三国学校給食センター

予算額	当初	決算額	不用額
	140,643 千円	123,958 千円	16,685 千円
前年度	136,430 千円	134,629 千円	1,801 千円

主な特定財源			
諸収入	雑入（小学校給食負担金）	54,521 千円	
諸収入	雑入（中学校給食負担金）	29,314 千円	
諸収入	雑入（その他教育費雑入）	1 千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児・児童・生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

中学校1校（三国）、小学校6校（三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・木部）、幼保園3園（みくに未来・加戸・三国南）、こども園１園（雄島）の計11施設に給食を提供する。なお、幼保園、子ども園分に係る費用については保育園費にて対応している。

○需用費 104,563 千円

消耗品費	1,539 千円
燃料費	4,495 千円
印刷製本費	49 千円
光熱水費	12,539 千円
修繕料	74 千円
賄材料費	85,867 千円

給食の状況	給食人員		給食延数
	小中学校	1,857人	310,333食
	幼保園等	463人	108,735食
合計		2,320人	419,068食

○役務費 1,359 千円

通信運搬費	182 千円
手数料	1,060 千円
火災保険料	77 千円
自動車保険料	40 千円

○委託料 17,964 千円

害虫駆除委託料	229 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 227	
中事業	06	三国学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 三国学校給食センター

…【前頁より】

警備保障委託料	278 千円
受水槽管理委託料	99 千円
消防設備保守点検委託料	27 千円
清掃委託料	257 千円
電気工作物保守点検委託料	390 千円
コピー機保守点検委託料	42 千円
栄養管理システム保守委託料	79 千円
地下タンク定期検査委託料	99 千円
給食配送業務委託料	15,719 千円
ボイラー保守点検委託料	305 千円
地下タンク廃止業務委託料	440 千円

○使用料及び賃借料 62 千円

CATV利用料	34 千円
電算機器借上料	14 千円
放送受信料	14 千円

○負担金 3 千円

学校給食センター連絡協議会負担金

○公課費 7 千円

自動車重量税

【事業の成果と改善点等】

安全・安心と地産地消の観点から、給食の材料に地場産の食材を積極的に取り入れ、栄養バランスのとれた給食を提供することができた。

また、新センターへの移行を鑑み、老朽化した施設及び設備の小まめなメンテナンスや効率的な使用により、修繕等にかかる費用を抑えることができた。

引き続き、旬の地場産品を用いた献立メニューの作成に取り組みながら、学校給食の充実を図る。

【事業の実績等】

地場産（県産）食材使用率（実績）	R元	H30
	60.7 %	54.1 %

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 229	
中事業	11	春江坂井学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 春江坂井学校給食センター

予算額	当初	決算額	不用額
	278,757 千円	257,879 千円	20,878 千円
前年度	275,226 千円	270,937 千円	4,289 千円

主な特定財源			
諸収入	雑入（小学校給食負担金）		105,821 千円
諸収入	雑入（中学校給食負担金）		61,887 千円
諸収入	雑入（その他教育費雑入）		24 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

中学校2校（春江・坂井）、小学校7校（春江・春江西・大石・春江東・東十郷・大関・兵庫）、幼保園2園（春江・春江東）の計11施設に給食を提供する。

○需用費　220,635千円

消耗品費	5,516千円
燃料費	24千円
光熱水費	32,858千円
修繕費	1,809千円
賄材料費	180,427千円
医薬材料費	1千円

給食の状況	給食人員		給食延数
	小中学校	3,585人	617,728食
	幼保園	166人	28,318食
合計		3,751人	646,046食

○役務費　1,845千円

通信運搬費	214千円
手数料	1,577千円
火災保険料	37千円
自動車保険料	17千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 229	
中事業	11	春江坂井学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 春江坂井学校給食センター

…【前頁より】

○委託料　35,157千円

エレベーター保守点検委託料	654千円
害虫駆除委託料	218千円
空調設備保守点検委託料	292千円
警備保障委託料	45千円
施設管理委託料	455千円
施設保守点検委託料	8,685千円
受水槽管理委託料	216千円
消防設備保守点検委託料	403千円
電気工作物保守点検委託料	594千円
電算機器保守点検委託料	78千円
配送業務委託料	20,599千円
一般廃棄物収集委託料	131千円
ボイラー保守点検委託料	699千円
シルバー人材センター調理員業務委託料	1,742千円
調理機器点検委託料	346千円

○使用料及び賃借料　101千円

放送受信料	15千円
有料道路通行料	17千円
デマンド監視システム使用料	69千円

○備品購入費　給食用備品購入費　136千円

○負担金　学校給食センター連絡協議会負担金　5千円

【事業の成果と改善点等】

給食の食材については、地元業者や地場産を中心とした安全・安心な食材を取り入れ、おいしく栄養バランスのとれた学校給食の提供を図った。

今後も地元の食材を献立に取り入れながら、食育及び地場産食材使用率の向上に努める。

【事業の実績等】

地場産（県産）食材使用率（実績）	R元	H30
	69.5 %	60.9 %

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大事業	051	社会教育事業						決算書 P. 209	
中事業	01	社会教育事務事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額 当初	決算額	不用額
10,733 千円	10,018 千円	715 千円
前年度 10,712 千円	10,441 千円	271 千円

主な特定財源	県支出金	人権問題社会教育指導員設置費補助金	198 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

社会教育法に基づく社会教育委員の会を設置し、社会教育行政全般における調査及び審議を通して答申・建議を行うとともに、社会教育指導員を各地区に配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図る。また、生涯学習講演会を開催し、より高い文化の創造を図る。

【事業の概要】

社会教育法に基づく社会教育委員の設置・運営

○報酬	社会教育委員15名		510千円
○賃金	社会教育指導員賃金5名		8,570千円
○報償費	生涯学習講演会講師等謝礼		525千円
○旅費			221千円
東海北陸社会教育研究大会		49千円	
社会教育主事講習他		172千円	
○需用費			83千円
消耗品費		5千円	
食糧費		9千円	
印刷製本費		69千円	
・生涯学習講演会ポスター・チラシ		47千円	
・生涯学習・スポーツ報告書		22千円	
○委託料	生涯学習講演会時会場警備委託料		20千円
○使用料及び賃借料	生涯学習講演会機器使用料他		21千円
○負担金			68千円
県社会教育委員連絡協議会負担金		41千円	
東海北陸社会教育研究大会負担金		6千円	
県社会教育研究集会参加負担金		6千円	
県社会教育連絡協議会会費		15千円	

【事業の成果と改善点等】

社会教育委員の会を年４回開催し、各種研修会にも参加した。また、合宿通学事業の実行委員として事業視察を行った。生涯学習講演会では、昨年に引き続き、俳人夏井いつき氏による「句会ライブ」を開催し、老若男女問わず760名の参加があり盛況を得た。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大事業	051	社会教育事業						決算書 P. 209	
中事業	06	社会教育団体補助事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額 当初	決算額	不用額
1,840 千円	1,840 千円	0 千円
前年度 1,840 千円	1,840 千円	0 千円

主な特定財源			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

補助金の交付により社会教育団体の育成と活動の促進を図る。

【事業の概要】

○補助金			1,840千円
坂井市PTA連合会事業補助金		250千円	
青少年育成団体運営補助金		240千円	
・ボーイスカウト第5団	70千円		
・ガールスカウト第17団	70千円		
・ガールスカウト第20団	70千円		
・三国海洋少年団	30千円		
坂井市かるた協会事業補助金		350千円	
坂井市女性の会運営補助金		1,000千円	

【事業の成果と改善点等】

地域社会の活力向上や、社会教育活動を通した市民の交流、青少年の健全育成等を行う社会教育団体の活動・運営を支援し、組織の育成を図った。なお、各団体には、自己財源の確保等による補助金割合の適正化を促しており、今後も自主運営力を高める必要がある。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大事業	151	市民運動推進事業						決算書 P. 209	
中事業	01	市民運動推進事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	416 千円	416 千円	0 千円
前年度	416 千円	416 千円	0 千円

主な特定財源			
			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。

【事業の概要】

〇負担金　416千円

坂井市民運動推進協議会負担金　220千円

あすの福井県を創る協会負担金　196千円

第14回坂井市花壇コンクール

審査日　8月26日（月）　坂井地区・広域

8月27日（火）　三国地区・丸岡地区

8月28日（水）　春江地区

場　所　市内の花壇

参加数　44地区団体

坂井市ふるさとづくり大会

期　日　1月22日（水）

場　所　ハートピア春江　大ホール

内　容　坂井市市民運動実践者表彰

生涯学習講座

【事業の成果と改善点等】

坂井市民運動推進協議会による「坂井市ふるさとづくり大会」を開催し、より一層豊かで明るく、住みたくなるまちづくりを目指して市民運動への意識向上と推進を図った。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	国際交流推進費
大事業	001	国際交流推進事業						決算書 P. 209	
中事業	01	国際交流推進事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額	当初　流用	決算額	不用額
	13,071 千円	3,787 千円	9,284 千円
前年度	14,034 千円	11,489 千円	2,545 千円

主な特定財源			
予算流用(増減)額	△ 35 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内中学校生徒の英国への派遣と英国からの生徒の坂井市招へいを実施し、相互のホームステイや授業参加などを通して、国際化時代に対応できる人材を育成する。
また、中学1年生を対象とする英国派遣団の事前研修体験イベントや、市内中学生を対象に国際交流イベントを開催し、より多くの生徒に国際交流の機会を提供する。

【事業の概要】

〈招へい期間〉6月26日（水）～7月5日（金）　10日間

〈招へい人数〉生徒　25人（男子13人、女子12人）　引率者　4人

（カントニアンハイスクールおよびプラスマウルコンプリヘンシブスクール）

※英国派遣は新型コロナウイルス感染拡大のため中止

・国際交流イベント

〈日程〉　12月21日（土）

〈参加人数〉　市内中学校1～3年生　14名（男子4人、女子10人）

・英国派遣団事前研修体験

〈日程〉　1月18日（土）

〈参加人数〉　市内中学校の1年生　25名（男子6人、女子19人）

〇報償費　203千円

協力者謝礼　53千円

委員謝礼（派遣団員選考委員３名）　50千円

指導謝礼（事前研修講師25名）　100千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	国際交流推進費
大事業	001	国際交流推進事業						決算書 P. 209	
中事業	01	国際交流推進事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

…【前頁より】

○需用費　546千円
　消耗品費　267千円
　・招へい事業　96千円
　・派遣事業　164千円
　・交流事業　7千円
　食糧費　262千円
　・招へい事業　169千円
　・派遣事業　89千円
　・交流事業　4千円
　印刷製本費　17千円
○委託料　事業運営委託料（招へい委託料、派遣取消料）　2,973千円
○使用料及び賃借料　（事前研修時寝具借上料、施設使用料）　65千円

【事業の成果と改善点等】
英国招へいでは、丸岡南・三国中学校での趣向を凝らした交流会や授業参加、またホストファミリーを中心に、異文化交流を図ることで、国際理解教育を進めることができた。また令和元年度は坂井市でのステイ期間を１日延長し、ミニ提灯づくりや邦楽鑑賞および体験会を行い、招へい団の好評を得た。
英国派遣に関しては、派遣までの約半年間、県内ALTやウェールズ出身の大学教授の協力を得ながら、英国での活動に向けた事前研修を行った。残念ながら新型コロナウイルス感染拡大のため派遣中止となったが、英語力およびコミュニケーション能力の向上や、団員同志の絆を深めることができた。
また、英国派遣団事前研修体験では、派遣団としての研修を実際に体験することで、更に英国派遣への興味を深めることができた。
国際交流イベントでは、県内ALT5名の協力のもとクリスマスにちなんだ活動を行い、中学校の枠を超えて国際交流の推進を図ることができた。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 211	
中事業	01	子ども会育成事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	2,142 千円	2,140 千円	2 千円
前年度	2,142 千円	2,139 千円	3 千円
主な特定財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成に資する。

【事業の概要】
○負担金　156千円
　福井県子ども会育成連合会負担金　66千円
　坂井地区子ども会育成連絡協議会負担金　90千円
○補助金　坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金　1,984千円

ジュニアリーダー活動日数（重複含む）

	令和元年度
依　頼	47日
例　会	96日
自主企画	7日
研　修	4日
合　計	154日

【事業の成果と改善点等】
青少年のリーダー育成を目的に、市子連協議会を事業主体として、子ども会活動の支援や組織の育成を図った。特に「壁新聞コンクール」に注力し、表彰式に合わせて全作品の展示を行うことで市民への広報活動を行ったほか、小学校やコミセン等積極的に展示した。また、『組織運営部会』、『育成指導部会』、『総務広報部会』の3部会の活性化を図り、今後の子ども会活動を盛り立てていくような体制づくりに取り組んだ。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 211	
中事業	06	成人式事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額 当初	決算額	不用額
1,337 千円	1,183 千円	154 千円
前年度 1,473 千円	1,147 千円	326 千円

主な特定財源		千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

新成人の門出を祝福するとともに、一人ひとりが成人したことを自覚し、これから社会の中で自主的・協力的に行動するよう激励する。

【事業の概要】

〈期　日〉　1月12日(日)　午後1時30分～
〈会　場〉　ハートピア春江
〈対象者〉　新成人1,125人
〈参加者〉　新成人884名（男性456人、女性428人　出席率78.6%）

○報償費			869千円
	成人式実行委員等謝礼	65千円	
	成人式協力者謝礼	30千円	
	記念品等（記念アルバム）	774千円	
○需用費			146千円
	消耗品費	69千円	
	食糧費	31千円	
	印刷製本費	46千円	
○役務費	通信運搬費		156千円
○使用料及び賃借料	会場使用料		12千円

【事業の成果と改善点等】

新成人による実行委員会が企画・運営することで、今回のテーマである「Hug～令和に咲かせるそれぞれの花～」のもと、一人ひとりが活躍し、新しい時代を育むという決意を新たにするきっかけとなった。

【事業の実績等】

	令和元年度	平成30年度
成人式出席率	78.6%	79.5%

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 211	
中事業	11	わんぱく少年団事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額 当初	決算額	不用額
462 千円	436 千円	26 千円
前年度 596 千円	430 千円	166 千円

主な特定財源	諸収入	雑入（わんぱく少年団参加者負担金）	130 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

自然の中で行う様々な体験を通じて、仲間との協力の大切さを学ぶとともに自立心の向上を図り、人との関わりや今後の人生をより豊かに過ごせるような積極性を身につけることを目的とする。

【事業の概要】

〈名　称〉　「2019 SAKAIわんぱく少年団」
〈対象者〉　坂井市内小学校５・６年生３３人
〈実施期間〉　学校週休日・夏休み（６月～３月）
〈実施回数〉　９回　（新型コロナウイルスの影響で、修了式は中止）
〈実施内容〉　結団式、スノーケリング体験、ディスクゴルフ、どろんこ遊園地、夏キャンプ、ウォークラリー、本格カレー作り、イルミネーション作り、お笑い学校、ダムカヤック、ドッヂビー大会、冬キャンプ（ドローン＆eスポーツ体験）

○報償費	協力者謝礼		30千円
○需用費			252千円
	消耗品費	58千円	
	食糧費	194千円	
○役務費	傷害保険料		24千円
○使用料			130千円
	施設使用料	50千円	
	体験学習使用料	80千円	

【事業の成果と改善点等】

坂井市の豊かな自然にあらゆる体験活動を通して触れ合うことで、子どもたちのふるさと坂井市を大切にする健やかな心身を育むことができた。今年度は、本格カレー作り、ドローン体験、eスポーツ体験など実施事業の幅を広げ、昨年度と比べ団員が倍以上に増加した。今後も、子どもたちができるだけ多く参加できるような実施時期の調整や、参加したくなるような魅力ある内容の充実に努めていく。また、この事業にジュニアリーダーが深く関わることで、ジュニアリーダーに興味を示す団員もおり、ジュニアリーダーの新規メンバー確保にも繋がっている。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 211	
中事業	16	青少年育成坂井市民会議事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	2,126 千円	2,126 千円	0 千円
前年度	2,126 千円	2,036 千円	90 千円

主な特定財源			
			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

近年の青少年を取り巻く環境に鑑み、広く市民の総意を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。

【事業の概要】

青少年育成坂井市民会議の主な活動

期日	事業名	場所
5月24日（金）	青少年育成坂井市民会議総会	たかむく古城ホール
7月13日（土）	非行防止一斉キャンペーン	春江アミ、三国イーザ
9月30日（月）～10月2日（水）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習	丸岡中学校
10月 7日（月）・8日（火）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習	坂井中学校
10月10日（木）・11日（金）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習	丸岡南中学校
10月16日（水）・17日（木）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習	三国中学校
10月29日（火）・30日（水）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習	春江中学校
11月 2日（土）	一斉街頭啓発キャンペーン	プラント-2、ピアゴ
11月22日（金）	坂井市青少年健全育成推進大会	春江中コミュニティセンター
11月22日（金）	「心の教育講演会」	春江中コミュニティセンター

○補助金　　青少年育成坂井市民会議運営補助金　　2,126千円

【事業の成果と改善点等】

青少年が健全に成長していく環境づくりや、青少年の健全な心を育てることに貢献することができた。また、中学生を対象とした、命の教育「赤ちゃん抱っこ体験学習」を市内のすべての中学校で実施し、青少年育成坂井市民会議から多くのボランティアが参加した。

青少年健全育成推進大会は、例年子ども会壁新聞表彰と合同で行ってきたが、今年度は別々に開催した。昨年度と比較して来場者は減少したが、スムーズな準備、進行を行うことができた。次年度以降は、講演会の内容等を充実させ、来場者増を目指していく。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 211	
中事業	21	放課後子ども教室推進事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	4,000 千円	3,661 千円	339 千円
前年度	4,000 千円	3,931 千円	69 千円

主な特定財源	県支出金	放課後子どもプラン事業補助金	2,186 千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

地域づくりとコミュニティの拠点であるコミュニティセンターにおいて放課後子ども教室を実施し、子どもたちにとって多様で有意義な学習・体験の機会を提供する。

【事業の概要】

コミュニティセンターで、学習アドバイザーや安全管理員など、学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部として、地域の方々の協力を得て実施。各地域の実情に合わせながら、書道やお菓子作り、読書感想文教室など長期休暇の宿題を中心とした教室を開催したり、生け花教室、三味線教室、英語教室など定期的に教室を開催したりするなど、子どもたちが安全に学べる機会を提供した。

○委託料　　放課後子ども教室実施委託料　　3,661千円
（25教室・参加者延べ8,846人・開催日数合計907日）

【事業の成果と改善点等】

地域のボランティアの協力のもと、子どもたちの居場所を確保しながら、地域の資源や特徴に応じた様々な学習・体験を提供することができた。今後は、家庭教育支援チームとも連携しながら地域の教育力の向上を図る。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 211	
中事業	26	合宿通学事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	1,718 千円	1,367 千円	351 千円
前年度	1,290 千円	990 千円	300 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

コミュニティセンターに２泊３日または３泊４日で宿泊し、自分の身の回りのことはすべて自分で行いながら自立心を育むとともに、日常生活における家族の苦労や愛情の深さに気付き、感謝する気持ちを養う。

【事業の概要】

期間	場所	対象者	参加人数
6月20日（木）～22日（土）	磯部ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	磯部小学校　5年生	35名
9月26日（木）～28日（土）	春江東ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	春江東小学校 5年生	42名
10月9日（水）～11日（金）※	三国ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	雄島小学校　6年生	34名
10月30日（水）～11月2日（土）	東十郷ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	東十郷小学校 6年生	22名
合計			133名

※雄島小学校については台風の影響により、急遽期間を１日短縮した。

○委託料　　合宿通学事業業務委託料　　1,367千円

【事業の成果と改善点等】

家庭を離れて、長期間の宿泊を伴う日常生活体験は、学校教育では得られない大変貴重な体験であり、事業目的に沿った効果が得られた。また、地域の方がボランティアとして関わることで、地域の教育力の醸成にも繋がっている。各地区から1校ずつの年間計4校実施しているが、PTA主催で実施しようという新たな動きがあり、運営の手順や留意事項のレクチャー、食器類などの備品の貸与等で協力した。今後も、少しでも多くの児童が参加できるよう、いろいろな形で本事業に取り組んでいきたい。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 211	
中事業	31	坂井・延岡ジュニア交流事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初　流用	決算額	不用額
	1,440 千円	1,316 千円	124 千円
前年度	746 千円	633 千円	113 千円

主な特定財源	諸収入	雑入（坂井･延岡ジュニア交流事業参加者負担金）	500 千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	△ 62 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校児童を対象に両市の名所旧跡を学習することを通じて人的交流を図り、将来的に両市の縁を強めていくことを目的とする。

【事業の概要】

1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流を行っている。今年度は「坂井・延岡ジュニア交流隊」を結成して延岡市を訪問し、延岡市の小学生と交流した。

〈期　間〉　8月19日（月）～21日（水）　3日間
〈参加者〉　坂井市内小学5・6年生 20名、市P連2名、事務局2名
　　延岡市内小学5・6年生 20名、市P連2名、事務局4名

○報償費	手土産	20千円
○需用費	消耗品費	66千円
○役務費	通信運搬費	3千円
○委託料	事業運営委託料	1,227千円

【事業の成果と改善点等】

今年度は延岡市に坂井市児童が訪問した。延岡市の児童と一緒に延岡市の旧所名跡を見学し、両市の歴史について学び交流した。交流中はお互いに助け合いながら、自分の役割を果たしており、短い交流期間にひとまわり成長した姿が見られた。

今後は事業を継続していく中で、交流のスタイルがマンネリ化しないように新しい取り組みが取り入れられるか検討していく必要がある。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	051	心の家庭教育支援事業						決算書 P. 213	
中事業	01	心の家庭教育支援事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初 流用	決算額	不用額
	1,514 千円	1,507 千円	7 千円
前年度	1,421 千円	1,389 千円	32 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	97 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

家庭の教育力の向上を図るため、現在子育て中の親が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成を促進する。

【事業の概要】

・子育て講座

小学校を中心に多くの親が集まる機会（就学時健診時等）を活用して、家庭教育についての学習機会を提供した。（4校）

・家庭教育支援チーム

元教員、元保育士・子育て経験者などで坂井市家庭教育支援チームを結成し、子ども相談室や保護者相談などを通して家庭教育の支援を行った。

・広報誌の発行

子育てに関する情報やアドバイスなどを掲載した広報誌「ほやほや」を年5回発行した。

○報償費		1,378千円
子育て講座講師謝礼	40千円	
家庭教育支援チーム員手当（35名）	1,338千円	
○需用費		66千円
消耗品費	57千円	
食糧費	9千円	
○役務費		63千円
通信運搬費	35千円	
家庭教育支援チーム員傷害保険料	28千円	

【事業の成果と改善点等】

令和元年度は、県内初となる「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰を受賞した。各地区の支援スタイルも確立され、市内小学校での子ども相談室では、子どもたちとの信頼関係を育みながら活動している。また、これまで以上に様々な機会をとらえ、保護者会の待ち時間などに保護者相談に取り組んだ。今後は、支援員の相談対応技術力向上のための研修を重ね、さらに支援体制を強化したい。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	06	青少年愛護センター費
大事業	001	愛護センター事業						決算書 P. 213	
中事業	01	愛護センター事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	10,778 千円	10,184 千円	594 千円
前年度	11,380 千円	9,882 千円	1,498 千円

主な特定財源			
	県支出金	青少年愛護センター運営費補助金	374 千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為を、補導活動等により防止することによって、青少年の健全育成を図る。

【事業の概要】

○賃金	愛護センター職員賃金（4名）		7,439千円
○報償費	一般補導員手当（延べ1,284名）		1,156千円
○需用費			689千円
消耗品費・定期刊行物購読料		38千円	
公用車消耗品費		37千円	
啓発用消耗品費		25千円	
施設管理用消耗品費・大会行事用消耗品費		6千円	
燃料費		388千円	
食糧費		58千円	
印刷製本費		70千円	
修繕料		67千円	
○役務費			217千円
通信運搬費		135千円	
手数料		29千円	
自動車保険料		53千円	
○委託料			235千円
エンゼルロード警備保障委託		183千円	
コピー機保守点検委託		52千円	
○使用料及び賃借料			349千円
	コピー機リース料等	123千円	
	電話賃借料	226千円	
○工事請負費	電話回線等工事		80千円
○負担金	全国青少年愛護センター連絡協議会負担金		12千円
○公課費	自動車重量税		7千円

【事業の成果と改善点等】

一般補導員314名による補導活動をはじめ各自治区懇談会や合同巡回街頭補導を実施した。今後もさらに各関係機関と連携した補導体制の充実を図っていく。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	051	スポーツ推進委員運営事業						決算書 P. 225	
中事業	01	スポーツ推進委員運営事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額 当初	決算額	不用額
1,846 千円	1,747 千円	99 千円
前年度 2,783 千円	2,319 千円	464 千円

主な特定財源			
諸収入	雑入（大会参加料）	20 千円	
		千円	
		千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力を行い、市のスポーツ振興を図る。地域のスポーツの推進役として市民のスポーツニーズを把握し、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行うことができるようサポートする。

【事業の概要】

・派遣指導（マリン体操の普及推進、出前ニュースポーツ講座）17回/年
・スポーツイベントの開催　ニュースポーツ教室　年10回/延べ125人
　ニュースポーツ大会　15人
・各種大会への協力　坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭他
・会議等の開催　全体会1回、部会等18回、委員研修2回

○報酬　スポーツ推進員報酬　1,341千円
（@32千円×41人、@29千円×1人）
○旅費　費用弁償　75千円
全国スポーツ推進委員研究協議会（三重県津市）
北陸地区スポーツ推進委員研修会（福井市）
○需用費　定期刊行物購読料・資料購入代・啓発用消耗品費　49千円
○役務費　傷害保険料　75千円
○使用料及び賃借料　7千円
有料道路通行料
○負担金　200千円
会議・研修会参加負担金　117千円
県スポーツ推進委員協議会負担金・会費　83千円

【事業の成果と改善点等】

ニュースポーツ教室・スポーツスタンプラリー大会の企画運営をはじめ、市古城マラソン・市民スポーツ祭への協力、マリン体操の普及など、市民のスポーツによる健康づくりに貢献できた。特に、ドッヂビーの普及・指導に力を入れた。令和2年度ではスポレッシュ教室について検討を行い、参加人数の増加を図る。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	101	保健体育事業						決算書 P. 225	
中事業	01	保健体育事務事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額 当初 補2号	決算額	不用額
536 千円	224 千円	312 千円
前年度 326 千円	151 千円	175 千円

主な特定財源		
		千円
		千円
		千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】

スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。スポーツ振興審議会では、スポーツ推進に関する重要事項について調査及び審議を通して建議を行う。
また、各種スポーツ協議会に対し負担金助成を行う。

【事業の概要】

○旅費　特別旅費　169千円
日本サッカーを応援する自治体連盟総会（東京都）
令和元年度全国高校総体視察（沖縄県）
スポーツ振興センター助成金説明会（大阪府）
○役務費　筆耕翻訳料　10千円
ペルーパラリンピック委員会宛文書ペルー語翻訳料
○使用料及び賃借料　41千円
令和元年度全国高校総体視察時レンタカー代
地域スポーツ政策イノベーション・セミナー時有料道路通行料
○負担金　県体育施設協会負担金　4千円

【事業の成果と改善点等】

スポーツ振興計画に基づき、保健体育事務事業を実施した。
スポーツ振興審議会において、スポーツ振興計画の見直しを行う予定であったが、教育振興基本計画が延長されたことにより開催を見送った。
令和３年に坂井市で開催される全国高校総体サッカー競技会を円滑に開催するため、先進地視察等準備を行った。
東京パラリンピックの事前キャンプ誘致を目指し、ペルー共和国パラリンピック委員会とメールにて事前交渉を行った。今後も同国のキャンプ誘致に向けて積極的に取り組んでいきたい。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業						決算書 P. 225	
中事業	01	スポーツ大会運営事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	5,739 千円	5,313 千円	426 千円
前年度	5,700 千円	5,404 千円	296 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。

【事業の概要】

坂井市古城マラソン大会　6月2日（日）
　ゲストランナー　吉田　香織
　参加者数　3,507人
坂井市民スポーツ祭　10月14日（月）
　参加者数　2,872人
　スポーツフェスタ・各競技大会・教室

○需用費　80千円
　消耗品費　60千円
　食糧費　20千円
○役務費　傷害保険料　21千円
○委託料　スポーツ大会委託料　4,800千円
　坂井市民スポーツ祭
　（(公財)坂井市スポーツ協会）　2,300千円
　坂井市古城マラソン大会
　（(公財)坂井市スポーツ協会）　2,500千円
○補助金　412千円
　坂井市古城カップサッカー大会補助金　277千円
　坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金　100千円
　広域スポーツ大会事業費補助金　35千円

【事業の成果と改善点等】

各種大会を開催し、スポーツの振興を図った。市民スポーツ祭についてはスポーツの普及とともに市民の健康増進に寄与した。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業						決算書 P. 225	
中事業	02	ワールドマスターズゲームズ運営事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	補3号	決算額	不用額
	1,600 千円	1,595 千円	5 千円
前年度	0 千円	0 千円	0 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

世界最大の生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ2021関西」が令和３年度に日本で初めて開催される。坂井市では、オープン競技の「ディスクゴルフ」を開催することが決定しており、福井国体の開催を機に高まったスポーツ振興機運の承継と、世界各国に対する坂井の知名度向上並びにインバウンドの拡大を図る。

【事業の概要】

○旅費　特別旅費　598千円
　米国カリフォルニア州イノーバー社への協賛依頼　411千円
　米国ネバダ州大規模大会での出向宣伝　187千円
○需用費　96千円
　消耗品費　61千円
　食糧費　5千円
　印刷製本費　30千円
○役務費　132千円
　郵便料　3千円
　航空券購入費　129千円
○委託料　広報用映像撮影・編集業務　769千円

【事業の成果と改善点等】

ディスクゴルフ競技会への協賛を得るため、世界最大の競技用フライングディスクメーカーである米国「INNOVA CHAMPION DISCS社」を訪問し、同社社長より承諾を得た。

また、米国ネバダ州で開催されたディスクゴルフ競技会「第21回ラスベガスチャレンジ」の会場にて本大会の広報活動を行った。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業						決算書 P. 225	
中事業	06	スポーツ振興事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額 当初	補4号	決算額	不用額
94,070 千円		92,270 千円	1,800 千円
前年度 36,279 千円		35,565 千円	714 千円

主な特定財源		
		千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体に対し補助金を交付し、競技スポーツ・生涯スポーツの推進、また、スポーツによる青少年の健全育成を目的とする活動を支援する。また、予選を勝抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。

【事業の概要】

○報償費　全国スポーツ大会出場激励金　3,006千円
- 国体　37名
- 全国高等学校総合体育大会　79名
- 国際大会　0名
- その他全国大会　288名
- 計　404名（67大会）

○需用費　消耗品費　7千円

○負担金　クロカンマラソン大会負担金　1,200千円

○補助金　88,057千円
- 坂井市スポーツ協会補助金　82,660千円
- 坂井市スポーツ少年団補助金　3,897千円
- 地域密着型トップスポーツチーム支援事業補助金　1,500千円

【事業の成果と改善点等】

各スポーツ振興団体の活動計画に沿った事業を実施した。全国大会に出場する選手・監督に対し、激励金を交付し、大会での活躍を激励することにより、競技スポーツの振興を図ることができた。補助金交付については今後も効率的で効果のある団体運営を推進し、自主運営力を高める必要がある。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大事業	001	体育施設管理事業						決算書 P. 227	
中事業	01	体育施設管理事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額 当初	補2号 補3号	決算額	不用額
263,022 千円		262,204 千円	818 千円
前年度 390,499 千円		380,705 千円	9,794 千円

主な特定財源			
市債	合併特例事業債	6,700	千円
諸収入	雑入（スポーツ振興くじ助成金）	4,800	千円
繰入金	まちづくり整備基金繰入金	17,000	千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予算額	255,656 千円	決算額	254,838 千円
前年度繰越分	繰越分予算額	7,366 千円	繰越分決算額	7,366 千円

【事業の目的】

スポーツ環境の整備充実のため、体育施設の適切な維持管理及び運営を促進し、施設の安全性の確保とスポーツ振興及び利用の推進を図る。

【事業の概要】

◆体育施設維持管理事業　254,838 千円

○旅費　特別旅費　82千円

○需用費　修繕料　199千円

○役務費　手数料・火災保険料（公有建物共済分担金）　759千円

○委託料　184,477千円
- 備品等処分委託料　27千円
- 学校開放事業等委託料（(公財)坂井市スポーツ協会）　7,100千円
- 坂井市体育施設指定管理委託料（(公財)坂井市スポーツ協会）　138,350千円
- 坂井市屋内温水プール・フイットネスセンター指定管理委託料（アクアスポーツ㈱）　39,000千円

○使用料及び賃借料　29,113千円
- 土地借上料　（体育施設用地借上料）　29,113千円

○工事請負費　17,409千円
- 三国運動公園屋内ゲートボール場屋根防水工事　13,559千円
- 三国グラウンド天井ネット増設工事　1,958千円
- 三国運動公園屋内温水プールろ過機ろ過材更新工事　1,419千円
- 三国運動公園屋内温水プールろ過装置部品取替工事　473千円

○備品購入費　（三国体育館バスケットボール移動式ゴール１対）　8,068千円

○負担金　14,503千円
- 指定管理者修繕料負担金　14,483千円
- Ｂ＆Ｇ地域海洋センター連絡協議会負担金　20千円

○補償、補填及び賠償金　体育施設周辺補償費　228千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大事業	001	体育施設管理事業						決算書 P. 227	
中事業	01	体育施設管理事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

…【前頁より】

◆体育施設整備事業　7,366 千円

〇工事請負費　7,366千円

・丸岡スポーツランド駐車場整備工事（その２）

（平成30年度からの繰越事業）

【事業の成果と改善点等】

各体育施設について、適時修繕を行うなど適正な維持管理に努め、利用者満足度の向上に努めた。今後は、体育施設の老朽化に伴い施設の統廃合を含めた整備の検討が必要である。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業						決算書 P. 213	
中事業	01	文化振興事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初　補3号　流用	決算額	不用額
	7,218 千円	6,720 千円	498 千円
前年度	4,001 千円	3,833 千円	168 千円
主な特定財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	△ 145 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

文化芸術分野の全国大会以上に出場する市民に対し、大会での活躍を激励するとともに激励金を支給し、本市の文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を開催し、幅広く市民の意見を求め、市の文化施策推進を図る。

【事業の概要】

〇報償費　全国大会等出場激励金　430千円

〇需用費　9千円

消耗品費（事務用品）　3千円

食糧費　（会議用お茶）　3千円

修繕料　（一間一戸薬医門看板修繕）　3千円

〇使用料及び賃借料　136千円

車両借上料・入場料

（文化未来会議視察研修：七尾市内）

〇備品購入費　展示用備品購入費（文化祭展示用パネル）　6,145千円

【事業の成果と改善点等】

全国大会出場42個人に対して激励金を贈り、大会での活躍を激励した。坂井市文化未来会議では、国指定の重要無形民俗文化財である青柏祭など（七尾市内）を視察し、七尾の歴史を知るとともに、保存継承に対する取り組みを学んだ。（会議２回・研修１回）

【事業の実績等】

	令和元年度	平成30年度
全国大会等出場者数	42人	71人・1団体

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業						決算書 P. 215	
中事業	06	文化団体補助事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初	決算額	不用額
	127,130 千円	118,794 千円	8,336 千円
前年度	121,992 千円	116,201 千円	5,791 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、（公財）丸岡文化財団及び（公財）坂井市文化振興事業団、各種文化団体で組織する坂井市文化協会が実施する文化活動事業を支援する。

【事業の概要】

○補助金　118,794千円

丸岡文化財団運営補助金　50,596千円
坂井市文化協会事業補助金　2,600千円
坂井市文化振興事業団運営補助金　65,598千円

【事業の成果と改善点等】

丸岡文化財団が主催する一筆啓上賞は、市を代表する事業として定着している。また、まるおか子供歌舞伎事業においては、役者募集から稽古、本番まで地域との連携のなかで個性豊かな伝統芸能の継承を図っている。坂井市文化協会は、総合美術展や子ども文化祭を開催するなかで、大人から子どもまで幅広く文化活動に参加できる企画運営を担い、市の文化振興に大いに貢献している。また、恒例の市民文化祭も多くの来場があり、継続開催に向けた自己の研鑽と次世代育成・継承に努めていく。坂井市文化振興事業団は、ハートピア春江及びみくに未来ホールにおける舞台芸術公演の企画運営を始めとする地域団体の活動発表の場を提供するなど、市民の文化意識の向上や次世代育成に対して大きく貢献している。

【事業の実績等】

	令和元年度	平成30年度
一筆啓上賞応募数	32,106通	39,468通
文化協会会員数	2,047人	2,308人
文化協会活動事業数	59事業	76事業
文化振興事業団活動事業数	48事業	39事業

まるおか子供歌舞伎公演（出演者10人・観客900人）
かまぼこ板の絵とのコラボ展開催
【場所：手紙の館・西武福井店スカイアーチ特設会場】

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業						決算書 P. 215	
中事業	11	文化活動支援事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初	決算額	不用額
	18,200 千円	17,908 千円	292 千円
前年度	19,200 千円	18,348 千円	852 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することにより、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進する。

【事業の概要】

○委託料　17,908千円

文化祭業務委託料（坂井市民文化祭実行委員会）　4,988千円
公演業務委託料（坂井市文化振興事業団：21事業）　12,000千円
市民文化創造企画支援事業委託料（坂井市文化振興事業団）　920千円

【事業の成果と改善点等】

文化祭事業は実行委員会に委託し、市内４会場それぞれで芸能・展示発表を行い、いずれの会場も盛況であった。今後も、市内の文化ホール等を有効に活用しながら、市民の文化活動の活性化が図られるよう事業に取り組んでいく。公演事業では、音楽・古典芸能・演劇など様々なジャンルのアーティストによる公演を始め、地元出身の音楽家によるコンクールや有志者で構成する市民劇団の演劇など、市民参加・育成型事業にも取り組んでいる。今後もニーズに即した企画を取り入れていく。

【事業の実績等】

	令和元年度	平成30年度
文化祭来場者数	10,310人	10,014人
公演事業入場率（入場者数／設定席数）	82.4%	81.0%

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業						決算書 P. 215	
中事業	21	一筆啓上手紙の館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初	流用	決算額	不用額
	14,155 千円		14,154 千円	1 千円
前年度	14,154 千円		14,148 千円	6 千円
主な特定財源				千円 千円 千円
予算流用(増減)額	1 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】

「手紙の館」の管理運営を担う（公財）丸岡文化財団は、一筆啓上賞の作品を始めとする手紙にまつわる企画等を展開し、丸岡城と連携した文化と観光の充実を図る。

【事業の概要】

○報償費	運営審議会委員謝礼（３名）	45千円
○役務費	手紙の館火災保険料	109千円
○委託料	事業運営委託料（丸岡文化財団）	14,000千円

【事業の成果と改善点等】

丸岡文化財団に「手紙の館」の事業運営を委託し、一筆啓上賞の作品や手紙をテーマにした企画展等を実施している。施設の運営状況に対して、引き続き運営審議会で検討・助言等を行いながら、丸岡城と連携した地域のにぎわい創出を図っていく。

【事業の実績等】

	令和元年度	平成30年度
手紙の館入館者 （共通入場券入館者）	46,260人 （37,189人）	46,409人 （35,354人）

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決算書 P. 215	
中事業	02	文化の森・みくに市民センター管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初	補3号	流用	決算額	不用額
	83,801 千円			80,697 千円	3,104 千円
前年度	95,711 千円			89,919 千円	5,792 千円
主な特定財源					千円 千円 千円
予算流用(増減)額	144 千円		予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】

文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化活動の振興と文化的資質の向上を図る。

【事業の概要】

◆文化の森・みくに市民センター管理運営事業　80,574千円

○需用費　270千円
施設等修繕料（みくに市民センター作品設置修繕）

○役務費　236千円
ハートピア春江・みくに市民センター火災保険料　164千円
展示・収蔵資料損害保険料（小野忠弘作品）　72千円

○委託料　73,146千円
指定管理者委託料（坂井市文化振興事業団）

○使用料及び賃借料　文化の森敷地借上料（18,875㎡）　3,820千円

○負担金　3,102千円
指定管理者修繕料負担金（ハートピア春江非常用発電機用蓄電池設備）

◆省エネ対策事業　123千円

○使用料及び賃借料　デマンド監視システム使用料　123千円

【事業の成果と改善点等】

ハートピア春江は、大規模改修工事の着手に向けて最終協議を進め、契約を締結した。みくに市民センターは、施設の適正な維持管理を図っていく。市民の文化芸術活動の拠点として、両館の特性を活かしながら、市民の文化意識の向上を目指した施設の運営に取り組んでいく。

【事業の目標値と実績等】

	目標値	実績
ハートピア春江利用者数	110,200人	74,737人
みくに市民センター利用者数	15,700人	20,861人

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決算書 P. 215	
中事業	21	みくに龍翔館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

予算額 当初	流用	決算額	不用額
28,013 千円		26,776 千円	1,237 千円
前年度 36,062 千円		34,810 千円	1,252 千円

主な特定財源		
使用料諸収入	みくに龍翔館入館料	2,104 千円
	雑入（町誌等頒布代他）	162 千円

予算流用(増減)額	31 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

坂井市の歴史、自然及び文化についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管、展示し、これらの資料に関する調査及び活用を図る。

【事業の概要】

◆みくに龍翔館管理運営事業　26,620千円

- ○賃金　臨時職員賃金（3名）　7,125千円
- ○報償費　協力者・指導・有識者謝礼　659千円
- ○旅費　特別旅費　240千円
- ○需用費　8,415千円
  - 消耗品費（事務用消耗品・新聞代等）　625千円
  - 燃料費（ガソリン・重油・ＬＰガス）　2,680千円
  - 食糧費（会議用賄等）　11千円
  - 印刷製本費（パンフレット・資料等印刷）　295千円
  - 光熱水費（電気・水道料）　4,349千円
  - 修繕料（空気調和機修繕等）　455千円
- ○役務費　852千円
  - 通信運搬費（郵便料・電話料等）　303千円
  - 手数料（特殊建築物定期点検・入館者斡旋等）　302千円
  - 保険料（火災、自動車、展示・収蔵資料損害保険料）　247千円
- ○委託料　8,456千円
  - 施設管理委託料（エレベーター・空調保守点検、警備等）7,470千円
  - 樹木等管理委託料　759千円
  - 燻蒸委託料　227千円
- ○使用料及び賃借料　事務機器借上料・山車借上料等　481千円
- ○備品購入費　図書購入・展示用備品　374千円
- ○負担金　県博物館協議会負担金等　10千円
- ○公課費　自動車重量税　8千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決算書 P. 215	
中事業	21	みくに龍翔館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

…【前頁より】

◆みくに龍翔館展示事業　156千円

- ○報償費　指導謝礼　21千円
- ○需用費　135千円
  - 消耗品費（大会・行事用消耗品費）　23千円
  - 食糧費（調査等賄）　3千円
  - 印刷製本費（ポスター・パンフレット等印刷）　109千円

【事業の成果と改善点等】

施設の老朽化への対応と坂井市の総合博物館づくりを進めるため、建築設備および展示の全面改修を行い、令和5年春のオープンを目指す。令和元年度には「みくに龍翔館リニューアル基本計画」を策定し、各種調査や視察を実施。令和2年度のリニューアルの設計に向け、準備を行った。また、3月9日には「登録博物館」に登録されている。

企画展では、令和改元を記念した坂井の平成の歩みをたどるミニ企画展を開催。また、坂井市出身の詩人荒川洋治氏の日本芸術院賞受賞を記念し、2つの企画展を実施。市出身でもう一人の日本芸術院会員となった洋画家・新道繁による珠玉の作品や、坂井市の風土を愛し集った著名な作家たちの資料を展示した。

市内施設からの資料移管や新収蔵資料の受入を行い、坂井市の資料収集・保存に努めた。今後は更に整理・目録化および研究を進め、資料の利活用を図る必要がある。

なお、3月9日に予定していた郷土史研究講座「織田信長と惟任（明智）光秀」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

【事業の実績等】

- ○企画展
  - 「平成」から新年号「令和」への改元記念
    - ミニ企画展「ほやったの～　坂井の平成30年」
      - 4月27日（土）～6月2日（日）　入館者数　1,552人
  - 坂井市出身の詩人荒川洋治氏の日本芸術院賞受賞記念
    - 企画展「松の巨匠　新道繁がみつめた世界」
      - 7月27日（土）～9月1日（日）　入館者数　1,034人
    - 企画展「三国に集った作家たち」
      - 10月26日（土）～12月1日（日）　入館者数　1,577人
- ○資料発行
  - 『みくに龍翔館研究紀要　第14号』 3月31日発行　66頁230冊
- ○みくに龍翔館リニューアル検討委員会（8名）　3月13日開催
- ○新収蔵資料登録点数　566点（寄贈427点、寄託74点、購入65点）
- ○館外活動（講師派遣等）　9回

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決算書 P. 217	
中事業	26	ＯＮＯメモリアル管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

予算額	当初	決算額	不用額
	2,682 千円	2,444 千円	238 千円
前年度	3,900 千円	3,638 千円	262 千円
主な特定財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

故小野忠弘氏の住宅兼アトリエの保存・活用を図るとともに、市民の現代美術に関する感性と創作意欲の向上に寄与する。

【事業の概要】

○報償費	97千円
指導謝礼	20千円
賞品	77千円
○需用費	615千円
消耗品費（施設管理用消耗品・大会行事用消耗品等）	58千円
食糧費（ふるさと坂井絵画展審査時賄等）	1千円
印刷製本費（賞状・ポスター・パンフレット印刷）	109千円
光熱水費（電気料・水道料）	349千円
修繕料（施設等修繕料）	98千円
○役務費	87千円
通信運搬料（郵便料、電話料）	78千円
火災保険料	9千円
○委託料	1,515千円
施設管理委託料（警備保障、施設管理、樹木等管理等）	1,008千円
イベント事業委託料	507千円
○工事請負費	130千円
空調機取付工事費	130千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決算書 P. 217	
中事業	26	ＯＮＯメモリアル管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

…【前頁より】

【事業の成果と改善点等】

アーティスト戸田正寿氏により2年ぶりにリニューアルした常設展を継続。小野忠弘・松村忠祀が愛した雄島の林と夕焼けを表現した作品に、県内外から多くの来館者が訪れている。

例年開催している「こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展」に関して、市民からの要望等をふまえ、特別賞を除いた入選作品返却を実施している。

令和2年度の第7回北陸三県高校生現代アートビエンナーレ開催に向け、実行委員会を組織し委員会を開催。今後の活動の後押しとするため、クリエイティブな分野へ進んだ過去参加者に取材し特集記事を作成するなど準備を進めた。

なお、ONOメモリアルの有効活用を図るため、現代美術振興のための企画・運営の方法については、更なる検討が必要である。

【事業の実績等】

第13回「こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展」
- 出品数：2,017点
- 会場：みくに龍翔館
- 展示：入賞作品200点、9月22日（日）～10月14日（月）

リニューアル常設展「小野忠弘 雄島の森展ー松村忠祀を偲ぶー」
- インスタレーション：戸田正寿氏
- 展示：令和2年3月23日（土）から継続中

企画展「松村忠祀に選ばれし ものたち」
- 展示：令和2年3月23日（土）～6月2日（日） 入館者数　452人

北陸三県高校生現代アートビエンナーレ
- 実行委員会（8名）　10月17日開催
- 過去参加者6名に取材　　インタビュー内容を特集記事として募集チラシに掲載

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	001	文化財保護審議会運営事業						決算書 P. 217	
中事業	01	文化財保護審議会運営事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初	決算額	不用額
	188 千円	188 千円	0 千円
前年度	234 千円	187 千円	47 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

新たな文化財の指定や解除に関する諮問や、市の文化財保護施策に関する討議などを通して、文化財の保護を図る。

【事業の概要】

○報酬	文化財保護審議会委員報酬（8名）	184千円
○旅費	文化財保護審議会委員費用弁償	1千円
○需用費	食糧費（会議用お茶）	3千円

【事業の成果と改善点等】

指定・登録文化財について候補の審議を引き続き行うほか、年間計画等についても助言をもらう。

【事業の実績等】

委員数	会議開催数
8名	6回 (現地調査3回含む)

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 217	
中事業	01	文化財保存管理事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初 補2号 補3号	決算額	不用額
	18,510 千円	16,988 千円	1,522 千円
前年度	8,812 千円	7,609 千円	1,203 千円

主な特定財源			
	国庫支出金	文化財管理事業費補助金	117 千円
	国庫支出金	文化財保存活用地域計画作成事業補助金	5,863 千円
	諸収入	雑入（参加者負担金）	9 千円
予算流用(増減)額	△ 31 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

文化財の保存管理に必要な措置を講じ、貴重な文化財を後世に伝えるため、広く市民への公開や活用を通して、文化財保護意識の啓発を行う。

【事業の概要】

◆文化財保存管理事業　9,793千円

○報償費	771千円
協力者謝礼（野外コウノトリの巣周辺環境維持活動協力謝礼）	170千円
有識者謝礼（市内指定文化財調査協力謝礼）	76千円
文化財管理奨励金	525千円
○需用費	1,225千円
消耗品費（子ども向け体験学習等消耗品）	100千円
食糧費（子ども向け体験学習等材料）	4千円
印刷製本費（コウノトリ紹介パネル）	64千円
光熱水費（出世山古墳公園等電気料・上下水道料）	86千円
修繕料（出世山古墳公園四阿階段改修外4件）	971千円
○役務費	59千円
カモシカ処理手数料（4体）	46千円
丸岡城関連施設・出世山古墳公園火災保険料	13千円
○委託料　文化財管理委託料（古墳公園等清掃、草刈等）	3,055千円
○使用料及び賃借料	242千円
出世山古墳公園、銅鐸出土記念碑敷地借上料	145千円
有料道路通行料	6千円
画像編集用パソコンリース料	91千円
○工事請負費　出世山古墳公園排水路整備工事	540千円
○備品購入費　銅鐸鋳造体験用シリコン型	36千円
○負担金　全国史跡整備市町村協議会負担金外2件	66千円
○補助金	3,799千円
市指定無形文化財保存活動事業費補助金	662千円
指定文化財保存事業費補助金	3,137千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 217	
中事業	01	文化財保存管理事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

…【前頁より】

◆地域計画作成事業　7,195千円

- ○報償費　302千円
  - 地域計画作成に係るプロポーザル審査委員謝礼　26千円
  - 文化財保存活用地域計画協議会委員謝礼　255千円
  - 文化財把握調査ワーキング会議謝礼　20千円
- ○旅費　99千円
  - 文化財保存活用地域計画研修会出席旅費　50千円
  - 坂井市文化財保存活用地域計画打ち合わせ旅費　49千円
- ○需用費　食糧費（協議会賄）　3千円
- ○委託料　坂井市文化財保存活用地域計画作成委託料　6,778千円
- ○使用料及び賃借料　有料道路通行料　13千円

【事業の成果と改善点等】

国・県指定の瀧谷寺建造物の自動火災報知機等の整備、県指定の阿弥陀如来坐像の修理、市指定の中庄のヤブツバキの防腐処理等を行った。また市内に営巣した特別天然記念物コウノトリのペアと繁殖したヒナの経過がわかる紹介パネルを作製し、周知を図ることや、出世山古墳公園の緑地維持管理を行うなど、文化財の維持・継承に努めた。今後も計画的に文化財保存管理を行う。

また、文化財の基本計画となる文化財保存活用地域計画の作成に着手し、協議会運営や未指定文化財等の把握調査を行った。次年度も市内の文化財等について情報収集、市民への周知に努めていく。

【事業の実績等】

文化財補助件数

	令和元年度	平成30年度
無形文化財活動補助件数	8件	8件
指定文化財保存事業補助件数	7件	3件
文化財管理奨励金件数	41件	39件

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 219	
中事業	11	埋蔵文化財発掘調査事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初　補2号　流用	決算額	不用額
	9,124 千円	7,872 千円	1,252 千円
前年度	10,785 千円	8,939 千円	1,846 千円

主な特定財源			
国庫支出金	埋蔵文化財調査費補助金	1,180 千円	
諸収入	雑入（大関東遺跡埋蔵文化財発掘調査等）	5,115 千円	
諸収入	雑入（文化財担当者研修参加助成金）	10 千円	
予算流用(増減)額	163 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

開発事業による埋蔵文化財の破壊や滅失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。

【事業の概要】

- ○賃金　丸岡城・六呂瀬山古墳群発掘調査作業員賃金（延173名）1,030千円
- ○報償費　委員謝礼（5名）　119千円
- ○旅費（費用弁償・特別旅費）　167千円
- ○需用費　235千円
  - 消耗品費（調査作業・整理作業用具）　231千円
  - 食糧費（会議用お茶）　2千円
  - 印刷製本費（写真現像焼付代）　2千円
- ○委託料　6,081千円
  - 調査委託料（六呂瀬山古墳群出土遺物整理作業）　50千円
  - 廃材処分委託料　4千円
  - 試掘調査掘削委託料（大関東遺跡発掘調査・17件）　6,027千円
- ○使用料及び賃借料　205千円
  - 有料道路通行料　20千円
  - 発掘調査機材借上料　185千円
- ○備品購入費（埋蔵文化財調査用備品）　35千円

【事業の成果と改善点等】

埋蔵文化財の保護のため、開発事業における届出・調査に対する啓発に努めた。今後も、関係機関との円滑な調整を図るとともに、文化財保護に対する認識を高めていく。

【事業の実績等】

埋蔵文化財試掘調査等実施状況

	令和元年度	平成30年度
発掘届受付件数	128件	81件
試掘調査実施件数	17件	24件
調査面積	437㎡	344㎡
内容確認遺跡数	49件	35件
発掘調査	3件	2件

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 221	
中事業	21	丸岡城関連施設管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初 補4号 流用	決算額	不用額
	4,015 千円	3,628 千円	387 千円
前年度	7,873 千円	7,635 千円	238 千円

主な特定財源		
		千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	△ 52 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

丸岡城関連施設を指定管理者に委託し、丸岡城関連施設の円滑かつ現場に即した適切な管理を行い、丸岡城の観光の充実と地域の文化振興を図る。

【事業の概要】

○役務費 92千円
　丸岡城関連施設火災保険料 64千円
　丸岡歴史民俗資料館寄託資料損害保険料 28千円
○委託料 1,064千円
　丸岡城周辺樹木剪定・伐採業務委託料
○使用料及び賃借料 1,372千円
　丸岡城周辺土地借上料
○負担金 1,100千円
　指定管理者修繕料負担金（丸岡城漆喰壁修繕）

【事業の成果と改善点】

（公財）丸岡文化財団は、丸岡城周辺の一体的な管理運営を行い、観光面・文化面での賑わい創出を図る。

【事業の目標値と実績等】

	目標値	実績
丸岡城入場者	130,000人	147,542人

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 219	
中事業	16	丸岡城国宝化推進事業						所管部局	教育委員会事務局 丸岡城国宝化推進室

予算額	当初 流用	決算額	不用額
	32,475 千円	31,144 千円	1,331 千円
前年度	13,899 千円	11,967 千円	1,932 千円

主な特定財源			
	国庫支出金	丸岡城天守耐震診断事業補助金	10,967 千円
	県支出金	丸岡城天守耐震診断事業補助金	3,655 千円
	物品売払収入	丸岡城天守学術調査報告書等	514 千円

予算流用(増減)額	△ 111 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

平成30年度までに実施した調査を基に、その調査過程で明らかになったことを市民に公開し、丸岡城国宝化に向け市民の丸岡城に対する認識を高める。

【事業の概要】

○賃金（臨時職員賃金） 4,506千円
○報償費（講師謝礼） 469千円
○旅費（特別旅費） 52千円
○需用費 2,212千円
　消耗品費（事務用消耗品、保健衛生消耗品、看板代）101千円
　燃料費（LPガス、灯油代） 122千円
　食糧費 6千円
　印刷製本費（報告書、ポスターパンフレット印刷）1,499千円
　光熱水費、修繕料 484千円
○役務費（郵便料、電話料、火災保険料） 203千円
○委託料 22,387千円
　事務所コピー機保守点検委託料 109千円
　調査委託料（丸岡城天守耐震診断） 21,934千円
　制作業務委託料 104千円
　原稿執筆委託料 240千円
○使用料及び賃借料（コピー機、画像処理用パソコンリース他） 395千円
○負担金、補助及び交付金（丸岡城を国宝にする市民の会補助金） 920千円

【事業の成果と改善点等】

11月16日に、たかむく古城ホールで「丸岡城シンポジウム」を開催、市内外から240名の参加があり、H30度末に刊行した調査報告書の内容や調査研究事業の成果を広く内外にアピール出来た。また、報告書を作成する過程で収集した資料の一部を取りまとめた「丸岡城学術調査資料集　第1集　―昭和15～17年修理工事関係資料―」を3月末に刊行した。丸岡城調査研究委員会　構造部会を3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催できなかった。

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	09	丸岡城周辺整備基金費
大事業	001	丸岡城周辺整備基金						決算書 P. 233	
中事業	01	丸岡城周辺整備基金						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初	決算額	不用額
	19 千円	18 千円	1 千円
前年度	37 千円	19 千円	18 千円

主な特定財源			
財産収入	城周辺整備基金利子		18 千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

丸岡城周辺の整備及び丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置する。

【事業の概要】

丸岡城周辺整備基金に係る運用益等の積立を行う。

○積立金　18千円

城周辺整備基金積立金（預金利息）

平成30年度末現在高 ①	令和元年度中増減額 取崩額 ②	令和元年度中増減額 積立額 ③	令和元年度末現在高①-②+③
183,557千円	0千円	18千円	183,575千円

【事業の成果と改善点】

預金利子分を積み立て、適切に基金管理を行った。今後も目的に応じた基金の活用に努めていく。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	001	図書館管理運営事業						決算書 P. 221	
中事業	01	図書館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 図書館

予算額	当初 補4号 流用	決算額	不用額
	125,784 千円	123,746 千円	2,038 千円
前年度	122,121 千円	119,373 千円	2,748 千円

主な特定財源			
諸収入	雑入（廃棄図書売却代）		62 千円
諸収入	雑入（図書カード再交付・コピー代・図書弁償金他）		181 千円
諸収入	雑入（自動販売機手数料）		351 千円
予算流用(増減)額	53 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

地域の情報拠点施設として４つの公共図書館を運営し、読書普及や情報サービスを提供することにより、地域や住民に役立つ図書館事業を推進する。

【事業の概要】

○報酬（図書館協議会委員）			90 千円
○賃金（臨時職員）			45,597 千円
○報償費（講師謝礼、協力者謝礼）			508 千円
○旅費			52 千円
○需用費			21,353 千円
	消耗品費	8,588 千円	
	光熱水費	8,600 千円	
	修繕料他	4,165 千円	
○役務費			1,132 千円
	通信運搬費	754 千円	
	自動車保険料	157 千円	
	手数料他	221 千円	
○委託料			11,795 千円
	図書館管理システム保守	1,282 千円	
	清掃業務委託	4,071 千円	
	警備保障他	6,442 千円	
○使用料及び賃借料			16,471 千円
	図書館管理システム使用料	11,664 千円	
	図書データ使用料	2,605 千円	
	通信料他	2,202 千円	
○工事請負費			81 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	001	図書館管理運営事業						決算書 P. 221	
中事業	01	図書館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 図書館

…【前頁より】

○備品購入費　26,616 千円
　図書購入費　26,000 千円
　施設用備品購入費他　616 千円
○負担金（県図書館協会費、日本図書館協会費）　39 千円
○公課費　12 千円

【利用状況】

４館合計

項目	令和元年度	平成30年度
来館者数（人）	453,342	461,682
貸出人数（人）	207,676	208,065
貸出冊数（冊）	864,056	860,183

【子どもの読書活動推進事業】

項目	令和元年度	平成30年度
子どもの読書活動推進事業講演会（人）	横山眞佐子氏ﾌﾞｯｸﾄｰｸ　362	たかどのほうこ講演会　223
	横山眞佐子氏懇談会　50	たかどのほうこ原画展　960
ブックスタート（人）	545	627
おはなし会（人）	2,213	3,215

【事業の成果と改善点等】

市民が親しみを持てる図書館をめざし、くらしや趣味などに役立つ資料や情報の収集、整備保存に努めた。また、市内４館のネットワークや県内外の図書館間相互貸借を活用しながら、必要な情報や資料の提供を行った。さらに、多様な図書館行事を通じ利用者の増加を図った。3月からの新型コロナウイルス感染予防対策のため、来館者数、貸出人数は減少した。

子どもの読書活動推進事業においては、ブックトーク及び懇談会を開催し、親子及び読み聞かせボランティアへの読書活動推進に効果があった。引き続きブックスタート事業を行い、乳児の保護者やその家族から好評を得ている。また、おはなし会等を通して、子どもたちが本に親しむきっかけづくりに努めた。

施設整備面においては、各館とも必要に応じ修繕や整備を行い快適な施設の維持管理を行った。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	051	記念文庫等管理運営事業						決算書 P. 223	
中事業	01	記念文庫等管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 図書館

予算額	当初　補4号　流用	決算額	不用額
	1,808 千円	1,676 千円	132 千円
前年度	2,678 千円	2,658 千円	20 千円

主な特定財源	諸収入	雑入（図書頒布代）	226 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	△53 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

中野重治記念文庫及び小葉田淳記念文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに記念講演会や行事を開催して、郷土の誇れる文学や歴史を次代に継承する。

【事業の概要】

○報酬費（講師謝礼）　246 千円
○需用費　602 千円
　消耗品費　159 千円
　光熱水費他　443 千円
○役務費（トイレ汲み取り料、切符等購入費）　44 千円
○委託料（生家跡樹木剪定業務等委託料）　575 千円
　樹木剪定業務等委託料　495 千円
　清掃委託料他　80 千円
○使用料及び賃借料　209 千円
　仮設トイレ借上げ料　21 千円
　防犯カメラリース料　158 千円
　著作権使用料　30 千円

【行事の開催】

・くちなし忌　8月24日（土）
　式典、詩の朗読他　場所　中野重治生家跡　参加者数　81名
　記念講演　演題　「中野重治と柳田國男」
　講師　鶴見　太郎氏（早稲田大学文学学術院教授）
　場所　たかむく古城ホール　参加者数　158名
・小葉田淳記念文庫講演会　11月19日（土）
　演題　「丸岡城の石瓦と石垣の石材」
　講師　吉澤　康暢氏（元福井市自然史博物館特別館長）
　場所　たかむく古城ホール　参加者数　124名

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	051	記念文庫等管理運営事業						決算書 P. 223	
中事業	01	記念文庫等管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 図書館

…【前頁より】

【見学者数】

中野重治記念文庫	年間	289名
小葉田淳記念文庫	年間	78名
今川節の部屋	年間	243名

【事業の成果と改善点等】

中野重治記念文庫の貴重な生原稿等の資料の保存や整理を行った。くちなし忌及び記念文庫講演会等、文庫関係にちなんだ講演会を実施し郷土の偉人を顕彰した。

中野重治記念文庫や今川節の部屋は一般開放しており、誰もが気軽に見学できる。資料の保管について安全を図りながら遺品や資料の閲覧、研究活動の支援に努めた。

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	19	図書振興整備基金費
大事業	001	図書振興整備基金						決算書 P. 235	
中事業	01	図書振興整備基金						所管部局	教育委員会事務局 図書館

予算額	補5号	決算額	不用額
	10,000 千円	10,000 千円	0 千円
前年度	0 千円	0 千円	0 千円

主な特定財源	寄附金	指定寄附金	10,000 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

坂井市立図書館の施設の整備及び機能の充実を図るため、坂井市図書振興整備基金を設置する。

【事業の概要】

坂井市図書振興整備基金に係る運用益等の積立を行う。

○積立金 10,000 千円

図書振興整備基金積立金

平成30年度末現在高 ①	令和元年度中増減額 取崩額 ②	積立額 ③	令和元年度末現在高①-②+③
0千円	0千円	10,000千円	10,000千円

【事業の成果と改善点】

目的に応じた基金の活用に努めていく。

令和元年度　坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検･評価に関する意見

坂井市社会教育委員　　日芳達也

教育は、幼児から高齢者まで一生のあらゆる時期に応じて提供されるが、今日その学習内容も、学習の手段・方法も多種多様化している。令和元年度末には新型コロナウイルス感染緊急事態宣言が発出され、学校教育をはじめとして様々な教育分野に多大な影響を与え、緊急対応を迫られた。このように急激な社会変化への迅速な対応が求められることもあり、急遽計画を変更せざるを得ない場合もある。また、教育はすぐさまその成果が出るものばかりではなく、その結果も把握しにくいという特性をもつことからも業績評価することが難しいことがある。

前記のような特性を持つ教育という領域に対して坂井市では、「輝く未来へ･･･みんなで創る希望の都市」の実現に向け平成２０年３月に策定された坂井市総合計画の中で、教育に関する分野では「生涯を通じて学び、育つ町づくり」を基本構想としている。これを受け教育委員会では子どもたちの夢を育むふるさとづくりを目指し、「豊かな心と生きる力を育み、未来を拓く都市づくりー人の心は、人を支え、人を育てるー」を教育の基本目標とした教育行政を推し進めてきた。

このようなことを念頭に置いて、教育委員会各所管課ごとの事業について事務の管理及び執行状況の点検・評価をさせていただいた。

１　教育委員会の活動状況について

５月からの新しい教育委員会制度のもと、定例教育委員会１２回及び臨時会２回を開催し２９件の附議事項を審議され、機能を果たしているものと判断できる。特に３月臨時教育委員会では、各学校の休業状況から新年度当初の対応、消毒液の確保など新型コロナウイルス感染防止対策について協議し、迅速に補正予算を組み対応を図っている。

教育委員の活動状況をみると、３３回の指導主事学校訪問を中心に実際の教育現場の把握に努めると共に、社会教育、芸術文化、スポーツとあらゆる教育関係行事に数多く出席し、市の教育全体の発展･推進に深く関わっていることがうかがわれる。

各種委員会、審議会においては、学校教育、社会教育、芸術文化、文化財、スポーツと教育全領域にわたりその振興を目的とした会議・協議が適宜適切な内容によって開催されている。

教育委員会関係の許認可の状況については、文化財の指定で、元年度に新たに１件が追加され１２３件が許認可されている。市の貴重な文化財を後世に残していくことは重要であり、引き続き保護にも努めてもらいたい。

今後も教育を取り巻く現状や市民のニーズの把握に努め､課題解決に向けて適正な活動を行い、本市教育基本目標の達成に努めていただきたい。

２　教育委員会関係事業別施策の成果

（１）教育総務課所管事業

教育委員会運営事業では､１４回の教育委員会及び２回の総合教育会議により協議･調整が行われ、円滑な教育行政が進められている。また、表彰事業については６６名９団体を表彰し、教育全般にわたる一層の振興に寄与している。

教育委員会事務局事業は、教育行政全般にわたる運営調整が図られていると同時に、教育振興会等への支援を通して学校教育の振興が図られている。また、大切な職員のメンタルヘルスの維持向上についても対策がとられている。

小・中学校管理事業では、教育環境の適正な維持管理や改善が図られている。小学校におけるＩＣＴ環境の整備や修繕工事による学校施設の長寿命化、中学校におけるデマンド監視システムの活用による省エネ対策が適切に進められている。実際にオンライン教育をやってみると、わかりやすいと声もある。小学１年生から中学３年生までの子どもたちが端末を使って学習できるよ

うに、今後は本格的にオンライン教育を推進できるように環境整備の促進が望まれる。

（２）学校教育課所管事業

教育相談事業では、小中学校共に不登校による欠席日数が３０日以上という児童生徒数が年々微増している。厳しい事業予算額の中でも事業実績で復帰率８０％を維持していることは評価に値する。今後も、学校と適応指導教室指導員とが連携し、保護者の支援や児童生徒の指導を行ってもらいたい。また、専門的な知識･技術をもつソーシャルワーカーと関係機関との連携を図り、問題をもつ児童生徒の支援を充実していただきたい。

学校・学級運営支援事業では、発達障がい等により特別に支援を要する児童生徒のために、学級サポーターは今や学校教育現場に不可欠なものとなっている。学級サポーターを適切に配置し対象児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化が図られたことは、高く評価できる。小学校英語の教科化により、教科指導員を配置し小学校教員の英会話や授業スキルアップにつながった。また、教職員の働き方改革が叫ばれる今日、教員の授業運営や事務負担の軽減につながる学級サポーターや学校運営支援員の配置は、今後もさらなる事業の充実が望まれる。

ＡＥＴを小学校３年以上の学級に配置し、児童の英語によるコミュニケーション力の向上を支援、またふるさとの自然・歴史・文化に触れる活動やその活動を通して地域の人たちと交流することを目的とした体験学習への支援も十分図られている。

連合運動会や音楽交流会など市内各小学校児童間の交流や各校でのふれあいや体験を支援するための事業も充実している。

健康管理面では、校医や関係機関との連携がしっかりと行われ、児童の健康保持、増進が図られている。昨年度と比較してスポーツ保険給付件数が小学校で約２０％、中学校でも約２５％も減少していることからもその成果がうかがえる。

市内全小学校の２～５年生全員を対象に坂井市学力調査を実施し、その結果を分析し児童の実態や課題の把握が的確に行われ、教員の指導力向上にもつながるように学力充実推進事業が適切に行われている。

市内小中学校で年々増加している就学援助対象児童の保護者数であるが、適正な審査認定と援助が行われ、保護者の経済的負担軽減が図られていることは意義あることである。

小学校通学支援事業により､一定距離を超えて通学する際の児童の安心･安全確保が図られている。第２子以降の負担金無償化は、多子家庭の経済的負担軽減につながり意義がある。中学校においても、スクールバス運行により遠距離通学者や部活動等で下校時刻が遅くなる生徒の安心･安全な通学手段の確保が図られている。第２子以降の負担金無償化は、多子家庭の経済的負担軽減につながり意義ある事業である。

中学校教育振興事業では、「百聞は一見にしかず」は学習の１原点であり、生徒たちがその機会を得て実際に体験できる本事業は大いに意義がある。また、市内全校生徒が自らの地域について調査学習したり、地域行事に参加したりして、地域に誇りや愛着を持つことは将来坂井市に残って活躍したいという生徒を育み、坂井市の発展にもつながってくる。

クラブ活動推進事業により、文化・体育部活動の環境が整えられ、県大会や北信越大会、全国大会等への出場校が増え、生徒の一層の意欲向上が図られた。また、教員の働き方改革の対策及び生徒の競技力・技術力向上のため外部指導者配置が行なわれているが、今後も更なる充実が望まれる。

学校給食管理事業では、新型コロナウイルス感染症対策のための３月臨時休校で様々な変更を迫られ苦労したことと思う。センター方式、自校式共に日頃からの適切な衛生管理の下、安心･安全な学校給食が提供されていること、学校給食事業を通じた地産地消や地域振興への取組が推進されることがしっかりとうかがえる。

（３）生涯学習スポーツ課所管事業

社会教育事務事業の一環として、生涯学習講演会では昨年度に引き続き、俳人夏井いつき氏による「句会ライブ」を行った。７６０名の参加者があり大盛況であったことはすばらしい。社会情勢に対応した社会教育の場面を考えると、異常気象やゴミ問題など環境問題や消費者問題といった講座や講演会も今後は開催が望まれるのではないだろうか。今後も、市民生活に対する意識の高揚や地域活動の活性化が図れる魅力ある生涯学習の機会の提供が望まれる。

社会教育団体補助事業では、補助金交付による社会教育団体の育成と活動の促進を目的としているが、一方で会費収入等自己財源の確保による補助金割合の適正化を促すとともに補助金額の段階的見直しの継続も課題となっている。自主運営力を高めることが、逆に運営内容の衰退を招かないようにすることも重要である

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、中学生を海外派遣し異文化体験、英国から中学生を招聘し交流を通して国際理解教育を推進する国際交流事業は、招聘･派遣事業いずれも大きな成果を上げるものと思われる。一方、坂井・延岡ジュニア交流事業では、姉妹都市間の友好・親善を児童の立場で深めると共に、郷土の歴史や異なる地域の生活・文化に対する理解を深める機会となっている。今年度は、延岡市を訪問し交流を図った。事業目的は達成できたようだが、今後は事業のマンネリ化を防ぐ対策が求められる。これらの児童生徒の交流事業はすぐにその成果が現れるものではないので、将来を担う市民への投資という視点で今後も適切に運営されることを希望する。

子ども会育成事業では、「壁新聞コンクール」に注力しての子ども会活動支援は大きな成果を収めたと思われる。子どもたちが自分たちの地域について自らが取材しまとめていく壁新聞づくりは、十分児童たちに達成感を与えたことと思う。また、わんぱく少年団事業では、自然体験のみならずドローン体験やｅ－スポーツ体験など実施事業の幅を広げたことにより参加者が昨年比倍増したという実績はすばらしい。近年その意義が浸透してきた合宿通学は小学校単位でＰＴＡが実施する動きまで出てきている。自立心の育成と家族へ感謝する気持ちを養うという本事業は大変有意義で、坂井市の特色ある事業の一つである。本年度は台風の影響で１日短縮されてしまったのが残念である。このように各種事業を通じて、子どもたちの協調性や自立心を養うとともに市内の自然や伝統文化に触れる体験が行われることは、子どもたちの郷土への愛着心を育み意義深いものである。今後も一層の充実が望まれる。

成人式事業は、全国的には新成人が式で様々な問題をおこしている例もあるが、法的にも社会的にも成人となったことを祝い、責任と自覚をもってもらうためにも必要な事業である。新成人の実行委員を中心に「Ｈｕｇ～令和に咲かせるそれぞれの花～」のテーマのもと企画運営され、８０％近い参加者があったことは評価できる。

青少年育成坂井市民会議事業として、「赤ちゃん抱っこ」や「心の教育講演会」は、次代を担う青少年の健全な育成という事業目的に合った取組で意義あるものと思われる。放課後子ども教室推進事業においても、子どもたちの安心･安全な活動拠点として２５教室確保すると共に、地域の資源や特徴に応じた様々な活動を体験させていることは大いに意義がある。心の家庭教育支援事業では、今年度県内初となる家庭教育支援チームの活動推進に係る文部科学大臣表彰を受賞したことはその成果の多大さを物語っている。広報、支援、相談活動等本事業のさらなる充実が期待される。

愛護センター事業での３１４名もの一般補導員による補導活動や各自地区懇談会、合同巡回街頭補導など青少年健全育成に寄与する部分は大きい。今後も関係諸団体との連携強化を図り、補導体制の充実をすすめていただきたい。「地域の子どもは地域で育てる」ということばがあるが、子ども会やＰＴＡ、青少年育成市民会議、家庭教育支援チーム、愛護センター等と子どもを取り巻く大人たちの連携によりこれら関連事業が今後一層充実することを期待したい。

生涯スポーツの推進と競技スポーツの振興、そしてスポーツ施設の充実という３本の柱から成

るスポーツ関連事業は、市民の健康増進、地域の活性化につながる重要なものである。スポーツ推進委員運営事業においては、スポーツ推進委員によって市民のスポーツニーズの把握や生涯スポーツの推進・サポートが的確に行なれ、市民が自主的なスポーツ活動を行うなど、スポーツを通しての健康増進に大きく貢献している。また、スポーツ大会運営事業においても、古城マラソン大会や市民スポーツ祭など各種大会を開催し、市民が気軽に参加できるスポーツの場の提供及び生涯スポーツの推進により、市民の健康増進に寄与できていると思われる。

保健体育事務事業では、東京パラリンピック事前キャンプ誘致や令和３年度全国高校総体サッカー競技の円滑な運営のための事前調査等、適切に事業が進められている。今年度新規事業のワールドマスターズゲームズ運営事業では、令和３年度に開催予定の世界最大の生涯スポーツ国際総合競技大会であるワールドマスターズゲームズ２０２１関西においてディスクゴルフ競技の坂井市開催のための準備が適切に進められている。このような大規模大会開催関連の事業を通して、福井国体を機に高まった市民のスポーツ振興気運の継承、坂井市の知名度向上及び活性化が今後一層図られることを期待したい。

スポーツ振興事業では、市民のスポーツ振興に寄与する団体やスポーツを通しての青少年健全育成団体に対する支援が十分に行われていると思われるが、昨年度は事業費の８５％、今年度は８９％を補助金が占めている点が気になる。各種団体の更なる効率的運営努力や自主運営力向上に向けた創意が求められるのではないか。体育施設管理事業では、各体育施設の修繕・改修等維持管理が適切に行われ、利用者満足度の向上に努力している。今後は年々施設の老朽化が進むこともあり計画的な事業運営が望まれる。

（４）文化課所管事業

芸術・文化活動の支援・育成、関連施設の充実、そして歴史的資源の継承と活用を柱として様々な事業が適正に行われた。

芸術・文化活動の支援という領域の文化振興事業では、文化芸術分野の全国大会以上の出場者４２個人への激励金支給及び坂井市文化未来会議の開催など、適正に執行されている。また、文化団体補助事業では、地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を目的に活動する諸団体を支援するための補助金が適切に交付されていると思われる。地域団体の活動発表の場の提供、市民の文化意識の向上や次世代育成に大きく貢献していると思われるが、事業実績等に目を向けると文化協会会員数の減少及び活動事業数の減少が気になるところである。

文化活動支援事業では、市民の文化活動への積極的な参加を推進するため、市民文化祭実行委員会及び文化振興事業団への委託料が適正に執行されている。文化祭での芸能･展示発表は４会場共に盛況だったことは実行委員会の努力の成果でもあり、市民の文化活動の活性化の現れであろう。様々なジャンルのアーティストによる公演、地元出身の音楽家によるコンサートや有志による市民劇団の演劇など公演事業での市民参加・育成型事業への取組等その成果は大きく、地域の芸術文化水準の向上にもつがっていると思われる。

関連施設の運営管理事業では、一筆啓上賞の作品や手紙をテーマにした企画展展開、及び丸岡城と連携した文化・観光の充実を図る一筆啓上手紙の舘の管理運営は適正に行われている。文化の森・みくに市民センター管理運営事業では、市民の文化芸術活動の拠点としての２施設の適正な維持管理が行われている。引き続き文化芸術活動の拠点として今後も２施設の特性を活かした管理運営を行ってもらいたい。

文化財保護審議会運営事業では、審議会の目的に沿った適切な運営が行われている。文化財保存管理事業においては、出世山古墳公園の緑地維持管理が継続的に行われている。また、４月下旬に営巣した天然記念物であるコウノトリのペアと繁殖したヒナについても適切な対応が行われ、県内では１９６１年に小浜市で確認されて以来、５８年ぶりの巣立ちとなるなど、文化財の維持･継承という事業が適正に行われている。埋蔵文化財発掘調査事業では、開発事業による埋蔵

文化財の破壊や滅失を防ぐとともに、その保護と開発事業との円滑な調整が適切に図られている。

国指定重要文化財に登録されている重文７城のひとつに数えられ、北陸地方で唯一現存する天守閣を持つ丸岡城に関連する事業をみると、丸岡城関連施設管理運営事業では、丸岡城周辺の一体的な管理運営は委託先の(公財)丸岡文化財団によって適切に行われていると思われる。丸岡城入場者数をみても目標値の１１０％という実績を上げている。今後も観光・文化面での一層の賑わい創出を図ってほしい。また、丸岡城周辺整備基金の活用も適切に行われている。

（５）丸岡城国宝化推進室所管事業

丸岡城国宝化推進事業では、丸岡城シンポジウムが開催され２４０名の参加があった。また、丸岡城学術調査資料集第１集が刊行された。これらにより、歴史的価値を明確にするための調査研究が行われた過程で明らかになったことを市民に公開できたことは大変有意義だった。今年度は天守耐震調査が行われ昨年度比で２，０００万円増の決算額になっているが、これは必要不可欠なものである。今後も丸岡城国宝化に向け、関係機関や専門家との連携を図り、所期の目的を達成してもらいたい。

（６）みくに龍翔館所管事業

みくに龍翔館管理運営事業では、老朽化が進む施設ではあるがその管理運営は適切に行われ、展示に関する事業も郷土に深く結びついた魅力的な内容で行われている。老朽化への対応と来館者の多様なニーズに応える総合博物館づくりの推進という大きな課題に対しては、リニューアル検討委員会を中心としてハード面だけでなくソフト面でも魅力ある展示活動、普及活動に取り組んでほしい。

ＯＮＯメモリアル管理運営事業では、北陸三県高校生現代アートビエンナーレが開催され、現代美術における若い人材発掘育成の契機となる企画や、アーティスト戸田正寿氏による２年ぶりの常設展のリニューアル、小野忠広氏の雄島の森展－松村忠祀を偲ぶ－など館の運営目的に適した執行が行われている。

（７）図書館所管事業

図書館管理運営事業では、地域に根ざした情報拠点として４公共図書館で適切な管理運営がなされている。インターネットや電子図書等の情報メデイアが利用しやすくなった今日、市民の知的欲求に応えるべく利用しやすい４館のネットワークやサービス体制の拡充、効率的な図書や資料の収集、読書活動推進につながる企画等、図書館ならではと言えるような事業を今後も充実していってほしい。また、本市の図書館は、記念文庫や郷土資料など価値ある資料を多く所蔵している。郷土ゆかりの中野重治、小葉田淳両氏の文学遺産を継承し、その業績を収めている記念館の価値は高い。記念文庫の市民への開放、蔵書や遺品の維持管理・収集、記念講演会やくちなし忌などの開催と、すばらしい運営がなされている。この記念館は市民の宝であり、記念文庫等管理運営事業では今後も適切な管理運営を行ってほしい。今年度設けられた図書振興整備基金については、施設整備や機能充実のため適切に執行されていくことを願う。

令和元年度　坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する意見

令和二年度坂井市 PTA 連合会会長　石津　直哉

はじめに

令和元年度の坂井市教育委員会の活動状況、事業別施策の成果についての確認・審査結果は以下の通りです。令和２年２月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて予定していた事業を断念せざるを得なくなったことが心残りです。

1.　教育委員会の会議開催等の状況について

令和元年度は定例会議 12 回及び臨時会２回を開催して、29 件の附議事項が審議されています。内容も小学校及び中学校に関わる案件だけでなく、文化関連の案件もあり、適切であると判断できます。

2.　教育長、教育委員の活動状況について

指導主事学校訪問については、児童・生徒数の多い学校は年間２回訪問して各学校での状況把握に努めていることがうかがえます。

また、教育長をはじめ教育委員の方々が数多くの教育関連行事(社会教育、芸術文化、スポーツ)に出席され、さらには地域の行事にも積極的に参加されていることに深い敬意を表します。地域の行事に積極的に参加されることで、市民にとっては教育長をはじめとした教育委員の方々が身近な存在になり、その場所でいろいろな話が聞けることによって相互理解が深まるものと考えています。

3.　委員会、審議会等の審議状況について

教育関連はもとより、特にスポーツ推進や文化財関連に多用な会議を行っており、市民の健康増進、生涯学習に深く関わっていることがわかります。

4.　教育委員会関係の認許可の状況について

令和元年度は前年度対比で△1 件となっていますが、これは２件あったものを１つにまとめたものであると理解しています。後世に残していくためにも、維持管理や保護に今まで以上に努めていただけるとありがたいです。

5.　令和元年度　教育委員会関係事業別施策の成果報告について

①　教育総務課関係について

・教育振興会等への支援を行い、教育振興に取り組んでいることがわかります。また職員のメンタルヘルスの維持向上を図るために、ストレスチェックを実施していることはこれから先も重点的に続けていってほしいと思います。

・小中学校の管理事業及び施設整備事業については、特別教室(図書室、音楽室、理科室)への空調設置をしていただき、児童・生徒の学習しやすい環境を整えていただいたことに深く感謝します。また、今後タブレットを使った授業・学習が始まることに対して校内通信ネットワーク環境整備が必要となりますが、その点もきちんと配慮されていることがわかります。
厳しい財政状況のなか、各学校の大規模改修工事や既存の施設維持管理については莫大な金額がかかりますが、学校現場とのヒアリングをしながら児童・生徒が安心して学習できるように進めていってほしいと考えています。

② 学校教育課関係について
・教育相談事業ですが、令和元年度は残念ながら不登校児童・生徒数が前年比で増えてしまいました。これは非常に難しい問題ですし、単純に予算をかければすぐによくなるといった類のものではないので、これから先も粘り強く丁寧に対応をお願いします。
・学校、学級運営支援事業については、特別な支援を必要とする児童・生徒を支援する学級サポーターを配置することは重要であると認識しています。また、学校運営支援員を配置して教員の多忙化解消を図っていることは評価できると考えています。
・小学校教育振興事業については、地域と進める体験推進事業は地域のことを改めて勉強するいい機会だと考えています。令和元年度で県からの事業期間は終了してしまいましたが、なんとかこのような機会を続けていってほしいと考えています。
・学校生活ボランティア推進事業については、地域の方々の協力を得て読み聞かせや収穫体験を行っていることは高く評価できます。ただ、昨年度の意見書にもあったように登下校時の見守り隊活動についてはこの中に入るのかどうかが明確ではないので、一考の余地があるかと思います。
・中学校のクラブ活動推進事業については、外部指導者を配置して教員の負担軽減を図るとともに必要な環境を整えていることは高く評価できます。クラブ活動を通して生徒の技術力及び競技力が向上するのはもちろん、心の成長にもつながるので今後もよろしくお願いします。
・生徒修学援助事業については、保護者目線にたって新入学用品購入のための準備金を早期に支給した点は評価できます。このような保護者目線にたった対応は今後もよろしくお願いします。
・学校給食管理事業については、給食センター方式や自校給食方式、民間委託方式が混在していますが、どれも地場産の食材を使用して栄養バランスに優れた給食を提供していることは高く評価できます。食育は子どもたちにはもちろん、人間にとって大事なことなので引き続き尽力をお願いします。

③ 生涯学習スポーツ課関係について

・社会教育事務事業については、社会教育委員の会を開催、各種研修会にも参加するなどして社会教育の振興が図られていることがわかります。また、生涯学習講演会では昨年に引き続き「句会ライブ」が盛況だったとのことで、今後もこのような市民が多数参加するようなイベントを企画・運営していただけたらと思います。

・国際交流推進事業については、新型コロナウイルスの影響を受けて英国派遣は中止となってしまいましたが、グローバルな人材育成、国際理解教育という面からも何とかこの先も続けていってほしいと考えています。

・子ども会育成事業ですが、「壁新聞コンクール」は子ども達が地域と密接に関わる素晴らしい事業です。ただ、私も以前参加して思ったのですが、学校区によって積極的なところとそうでないところがあるように感じました。参加率をあげていくことが今後の課題ではないでしょうか？

わんぱく少年団事業について、坂井市の豊かな自然環境のなかでさまざまな体験活動を行い子ども達にとってはかけがえのない思い出作りになっています。企画内容もドローン体験やｅスポーツ体験といった子どもたちが今興味を示していることを積極的に組み込んでいて好感がもてます。参加人数の増加、ジュニアリーダーが深く関わることによって、ジュニアリーダーに興味を示してくれる子ども達が増えたということで今後もよろしくお願いします。

・放課後子ども教室推進事業について、コミュニティーセンターを拠点として地域の大人と子ども達が一体となって活動することはお互いに価値があるものだと思います。このような活動を続けることによって、地域内で一体感が生まれますし、子ども達の微妙な変化を大人が気づくことによって、健全な青少年育成につながっていくものだと考えています。

・合宿通学事業について、子ども達にとっては貴重な体験だと感じます。PTA 主催で実施しようという動きがあるとのことで、その時にはぜひともノウハウを伝授していただきたくよろしくお願いします。

・坂井・延岡ジュニア交流事業について、昨年度の意見書にもあったように、担当する市Ｐ連役員の負担が大きい(３日間連続で職場に休暇をもらわなければならない為)のは事実です。子ども達にとっては素敵な経験になりますし、企画自体を否定しているわけではありませんが、延岡市側の意見も聞いてみてはどうでしょうか？

・心の家庭教育推進事業について、「家庭教育推進チーム」を平成２０年６月より活動開始して保護者が悩みを相談しやすい環境づくりに取り組んでいます。他の地域からも注目されていますので、今後ともより一層の支援体制の強化をお願いします。

・愛護センター事業について、補導活動(地域パトロール)による健全な青少年育成の役割は大きいです。ただ、愛護センターからのお知らせメールはもう少し早く届いてもよいかとは感じます。

・スポーツ振興事業について、内容は問題ないのですが、補助金の占める割合がかなり高いことが気になります。

④　文化課関係について

・文化振興事業について、文化芸術分野の全国大会に出場する市民を激励したり、坂井市未来会議を開催して他地域の文化財保存継承を学んだりと適正に事業が行われていると理解します。

・文化団体補助事業について、「一筆啓上賞」や「まるおか子供歌舞伎」事業は既に高く認知されています。今後はこれらに匹敵するような企画を育てていくことが課題といったところではないかと思います。

・文化活動支援事業について、文化祭が盛況であったことは高く評価できると思います。

・文化財保存事業管理事業について、令和元年度は坂井市内に営巣したコウノトリが話題となり、それをさっそく活用したことは高く評価できると思います。

⑤　図書館関係について

・図書館管理運営事業について、市内４つの図書館がうまくネットワーク化して市民にとって利用しやすい運営がなされていると感じます。子どもの読書活動推進事業ですが、ブックトークや懇談会を開催して読書活動推進に努めていることがわかります。電子ブック化が進む世の中ですが、まずは実際の本に触れることから始まると考えています。このような企画・運営はぜひとも続けていってほしいと願います。